

北海道胆振東部地震における
緊急地震速報の利活用状況に関する調査
〔調査結果 速報資料〕

平成31年3月
気象庁地震津波防災対策室

調査概要

■調査目的

平成30年9月に発生した平成30年北海道胆振東部地震における緊急地震速報の実態を調査することにより、今後の地震対策や情報提供に寄与し、近い将来発生することが想定される大規模な地震災害に対する気象庁の防災業務に資することを目的とする。

■調査対象

北海道胆振東部地震で震度5弱以上を観測した市区町村に在住し、強い揺れを経験した20歳以上の男女
(北海道地域振興局実施の平成30年度版国勢調査の人口比率に基づいて割付)

■回収数

1300サンプル

■調査方法

インターネット調査

■調査期間

平成31年2月6日～平成31年2月14日

〔速報結果分析編〕

【速報結果分析】

〔1. 眠っている人に対する効果〕

- 眠っていた人のうち、緊急地震速報がきっかけで目を覚ました人は、熊本地震時は、前震本震とも4割強。一方、北海道胆振東部地震時(以降、北海道地震時)は2割台半ば。

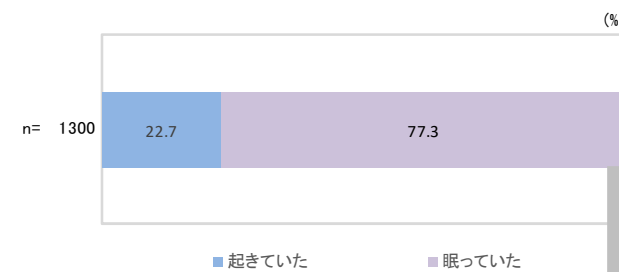
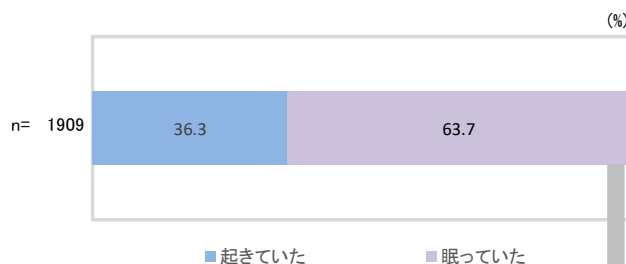
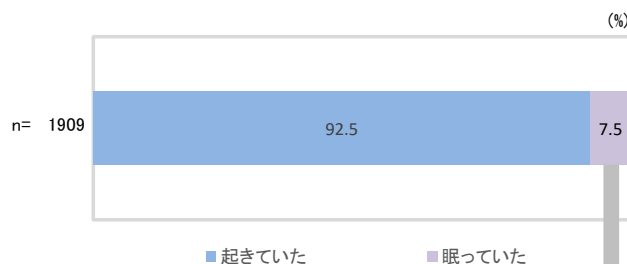
【平成28年熊本地震】

平成30年 【北海道胆振東部地震】

【Q2】4月14日夜9時半ごろの地震が発生した時、あてはまるものについて教えてください。

【Q14】4月16日深夜1時半ごろの地震発生した時、あてはまるものについて教えてください。

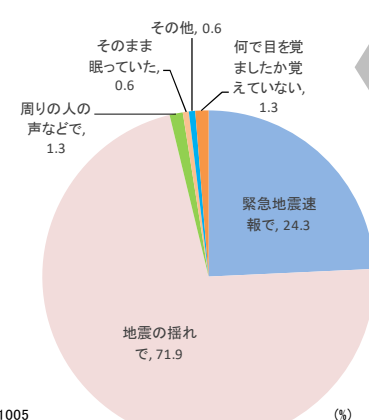
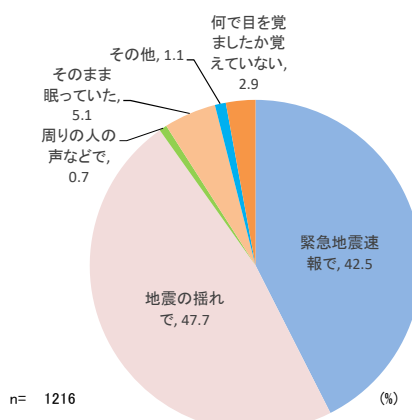
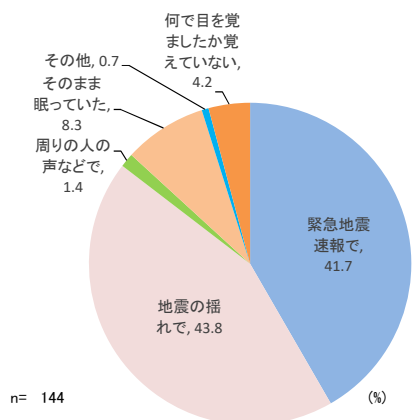
【Q2】9月6日午前3時ごろの地震が発生した時、あてはまるものについて教えてください。



【Q3】地震のときに「眠っていた」方は、何をきっかけに目を覚ましたか。

【Q15】地震のときに「眠っていた」方は、何をきっかけに目を覚ましたか。

【Q3】地震のときに「眠っていた」方は、何をきっかけに目を覚ましたか。



【速報結果分析】

バージョン1(安全な場所だったので)=Q9 1. 安全な場所だった又は8. 揺れが収まっていた

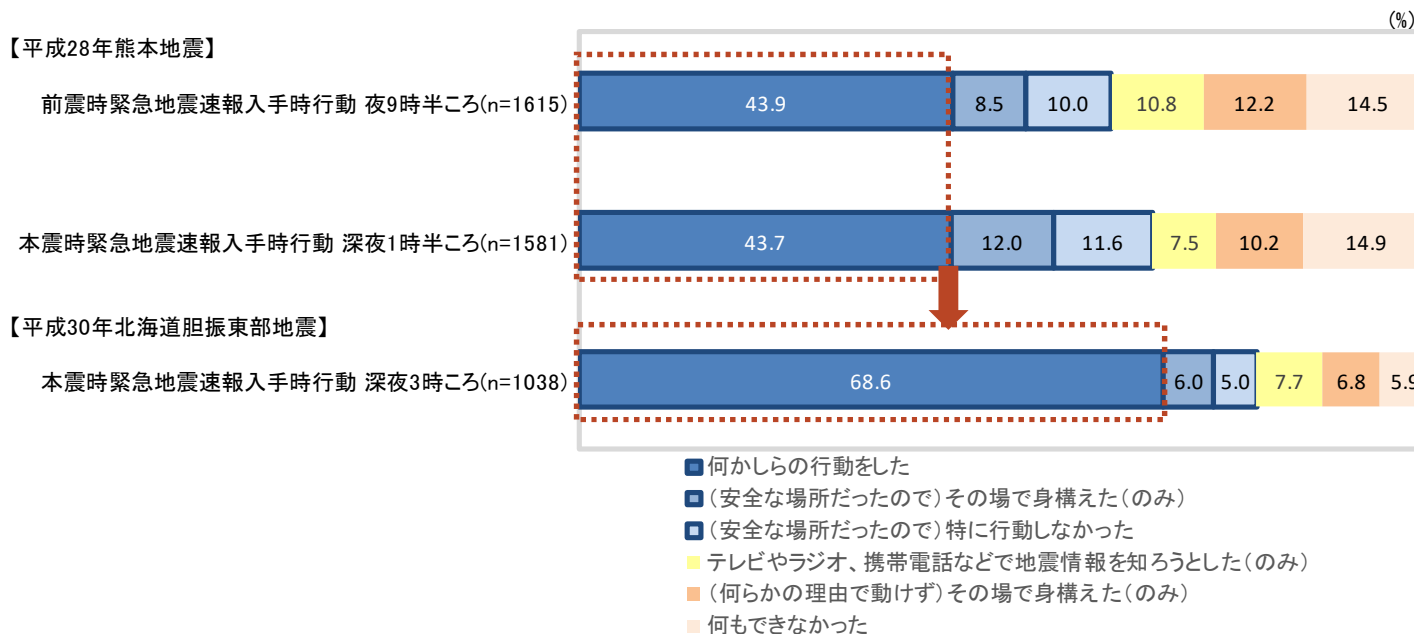
〔2. 緊急地震速報入手時の行動〕

- 緊急地震速報を入手して何かしらの行動をした人は、熊本地震時は4割台半ばに対し、北海道地震時は7割弱。北海道地震時、緊急地震速報をきっかけに行動を起こしている人が多数を占める。
- 緊急地震速報入手時に安全な場所にいたため「その場で身構えた」のみの人、「特に行動をしなかった」人は、熊本地震時は合わせて2割前後、北海道地震時では合わせて1割強。
- 緊急地震速報入手をきっかけに「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」のみの方は熊本地震時、北海道地震時ともに、合わせて1割程度。
- 緊急地震速報入手時に何らかの理由で動けず「その場で身構えた」のみの人、「何もできなかった」人は熊本地震時は2割台半ば、北海道地震時は1割強。

【Q8】4月14日夜9時半ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。
＜緊急地震速報を入手したとき＞

【問20】4月16日深夜1時半ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。
＜緊急地震速報を入手したとき＞

【Q8】9月6日午前3時ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。
＜緊急地震速報を入手したとき＞



n=1615 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

n=1581 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

n=1038 ベース: 緊急地震速報を「【Q8】9月6日午前3時ころの地震発生時に見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【速報結果分析】

バージョン2: 安全な場所だったので＝熊本地震時同様、Q9 1.安全な場所だったので、のみ

〔2. 緊急地震速報入手時の行動〕

- 緊急地震速報を入手して何かしらの行動をした人は、熊本地震時は4割台半ばに対し、北海道地震時は7割弱となり、北海道地震時は、緊急地震速報をきっかけに行動を起こしている人が多数を占める。
- 緊急地震速報入手時に安全な場所にいたため「その場で身構えた」のみの人、「特に行動をしなかった」人は、熊本地震時は合わせて2割前後、北海道地震時では合わせて1割に満たない。
- 緊急地震速報入手をきっかけに「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」のみの方は熊本地震時、北海道地震時ともに、合わせて1割程度。
- 緊急地震速報入手時に何らかの理由で動けず「その場で身構えた」のみの人、「何もできなかった」人は熊本地震時は2割台半ば、北海道地震時では1割台半ば。

【Q8】4月14日夜9時半ごろの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。

<緊急地震速報を入手したとき>

【問20】4月16日深夜1時半ごろの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。

<緊急地震速報を入手したとき>

【Q8-1】9月6日午前3時ごろの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。

<緊急地震速報を入手したとき>

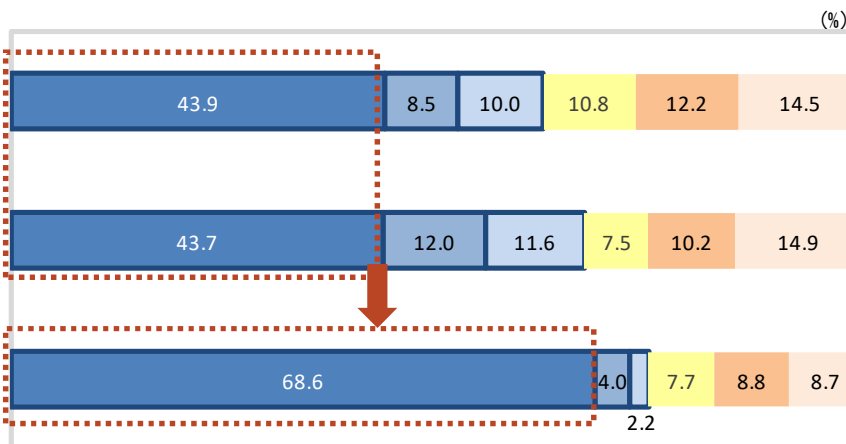
【平成28年熊本地震】

前震時緊急地震速報入手時行動 夜9時半ごろ(n=1615)

本震時緊急地震速報入手時行動 深夜1時半ごろ(n=1581)

【平成30年北海道胆振東部地震】

本震時緊急地震速報入手時行動 深夜3時ごろ(n=1038)



- 何かしらの行動をした
- (安全な場所だったので) その場で身構えた(のみ)
- (安全な場所だったので) 特に行動しなかった
- テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした(のみ)
- (何らかの理由で動けず) その場で身構えた(のみ)
- 何もできなかった

n=1615 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ごろの地震発生時と4月16日の深夜1時半ごろの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ごろの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

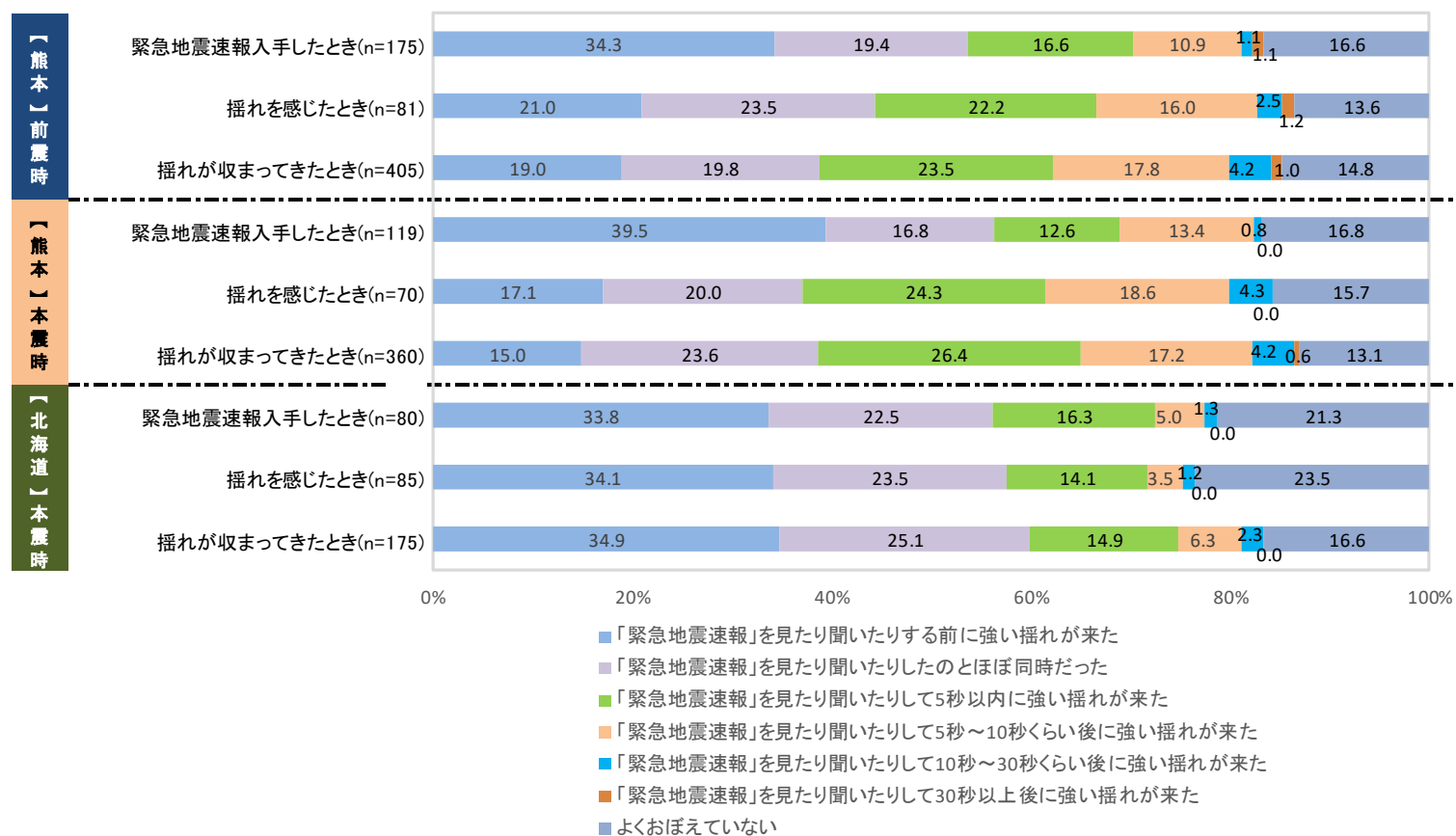
n=1581 ベース: 緊急地震速報を「4月14日夜9時半ごろの地震発生時と4月16日の深夜1時半ごろの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ごろの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

n=1038 ベース: 緊急地震速報を「【Q8-1】9月6日午前3時ごろの地震発生時に見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【速報結果分析】

〔3. 地震情報入手意向と緊急地震速報入手から揺れを感じるまでの時間〕

- 緊急地震速報を入手したときの行動がテレビ等で地震情報入手しようとしたのみに限定すると、＜緊急地震速報入手したとき＞においては、熊本地震時、北海道地震時ともに「緊急地震速報」を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た」と回答した人が3割台で最も高い割合を占める。
- ＜揺れを感じたとき＞＜揺れが収まってきたとき＞においては、熊本地震時においては、「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたのとほぼ同時だった」「緊急地震速報」を見たり聞いたりして5秒以内に強い揺れが来た」と回答した人が2割前後で最も高くなっている。一方、北海道地震時は、＜緊急地震速報入手したとき＞同様、「緊急地震速報」を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た」と回答した人が最も高い。



〔前震時〕 ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ごろの地震発生時と4月16日の深夜1時半ごろの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ごろの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

〔本震時〕 ベース：緊急地震速報を「4月14日夜9時半ごろの地震発生時と4月16日の深夜1時半ごろの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ごろの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

◎前震時、本震時いずれも緊急地震速報入手したときにテレビ等で地震情報入手しようとした人に限定

〔北海道〕 ベース：緊急地震速報を「9月6日午前3時ごろの地震発生時見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【速報結果分析】

〔4. 事前の対応想定有無別、緊急地震速報入手時の行動の比較〕

- 熊本地震時、北海道地震時ともに、緊急地震速報を入手した際の対応行動について、事前に緊急地震速報を入手した際の対応を考えていた人とそうでない人で、対応行動有無に差がみられる。

【平成28年熊本地震】

【Q8】4月14日夜9時半ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。(いくつでも) <緊急地震速報を入手したとき>

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	うま外	し場安	た道開	うな族	し火	うた押	とめ	せと地	た知電	構そ	そ	たてま
		たへ	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
		は出	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
		た出	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
		た出	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
全体	1615	89	202	117	209	119	87	142	146	387	566	12	396
	100.0	5.5	12.5	7.2	12.9	7.4	5.4	8.8	9.0	24.0	35.0	0.7	24.5
Q25-4 緊急地震速報入手時の対応想定有無別(前震前)	222	21	45	34	47	35	18	31	40	72	99	1	30
	100.0	9.5	20.3	15.3	21.2	15.8	8.1	14.0	18.0	32.4	44.6	0.5	13.5
前震発生以前に緊急地震速報入手時の対応を考えた	1393	68	157	83	162	84	69	111	106	315	467	11	366
	100.0	4.9	11.3	6.0	11.6	6.0	5.0	8.0	7.6	22.6	33.5	0.8	26.3

n=1615 ベース:緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月14日夜9時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【Q20】4月16日深夜1時半ころの地震のとき、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。(いくつでも) <緊急地震速報を入手したとき>

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	うま外	し場安	た道開	うな族	し火	うた押	とめ	せと地	た知電	構そ	そ	たてま
		たへ	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
		は出	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
		た出	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
		た出	た全	た開	な族	火の	押家	めす	と周	知電	えの	他	てま
全体	1581	116	177	108	225	63	87	180	113	253	502	17	420
	100.0	7.3	11.2	6.8	14.2	4.0	5.5	11.4	7.1	16.0	31.8	1.1	26.6
Q25-4 緊急地震速報入手時の対応想定有無別(本震前)	423	37	73	47	88	30	29	70	54	82	159	4	59
	100.0	8.7	17.3	11.1	20.8	7.1	6.9	16.5	12.8	19.4	37.6	0.9	13.9
本震発生以前に緊急地震速報入手時の対応を考えた	1158	79	104	61	137	33	58	110	59	171	343	13	361
	100.0	6.8	9.0	5.3	11.8	2.8	5.0	9.5	5.1	14.8	29.6	1.1	31.2

n=1581 ベース:緊急地震速報を「4月14日夜9時半ころの地震発生時と4月16日の深夜1時半ころの地震発生時の両方見聞きした」もしくは「4月16日の深夜1時半ころの地震発生時のみ見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【平成30年北海道胆振東部地震】

【Q8】9月6日午前3時頃の地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。(いくつでも) <緊急地震速報を入手したとき>

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	うま外	うま外	た道開	うな族	し火	たえ	とめ	せと地	確物の	た知電	備避	構そ	そ	たてま
		たへ	た全	た開	な族	火の	え	めす	と周	家の	知電	を難	えの	他	てま
		は出	た全	た開	な族	火の	え	めす	と周	家の	知電	を難	えの	他	てま
		た出	た全	た開	な族	火の	え	めす	と周	家の	知電	を難	えの	他	てま
		た出	た全	た開	な族	火の	え	めす	と周	家の	知電	を難	えの	他	てま
全体	1038	73	121	220	234	33	141	113	51	296	462	78	326	19	113
	100.0	7.0	11.7	21.2	22.5	3.2	13.6	10.9	4.9	28.5	44.5	7.5	31.4	1.8	10.9
NQ13-4 緊急地震速報入手時の対応想定別	161	15	29	46	29	6	16	23	12	55	86	17	43	4	7
	100.0	9.3	18.0	28.6	18.0	3.7	9.9	14.3	7.5	34.2	53.4	10.6	26.7	2.5	4.3
地震発生以前に緊急地震速報入手時の対応を考えた	877	58	92	174	205	27	125	90	39	241	376	61	283	15	106
	100.0	6.6	10.5	19.8	23.4	3.1	14.3	10.3	4.4	27.5	42.9	7.0	32.3	1.7	12.1

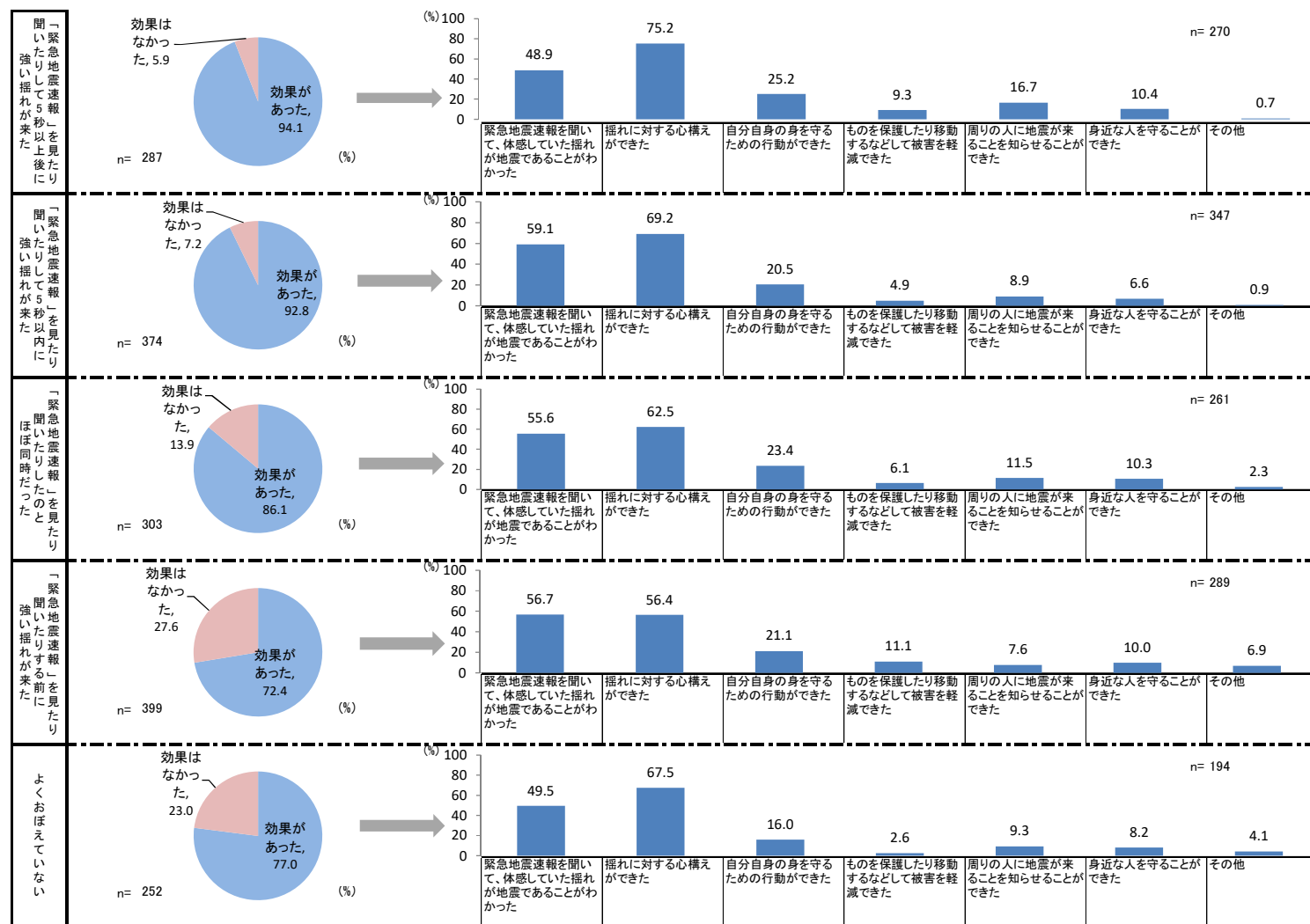
n=1038 ベース:緊急地震速報を「9月6日午前3時頃の地震発生時に見聞きした」と回答した人 ※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く

【速報結果分析】

〔5. 熊本地震前震時における猶予時間別効果有無と効果の内容〕

- ・ 猶予時間が長いほど「効果があった」とする人が多く、特に「心構え」の面で差が見られる。
- ・ 緊急地震速報より前に強い揺れが来た場合でも緊急地震速報は「効果があった」人は6割以上で、緊急地震速報によって「体感している揺れが地震であること」を認知した人は5割以上。

【Q26】熊本地震のときに、緊急地震速報の効果はありましたか。＜前震時猶予時間別クロス集計＞】



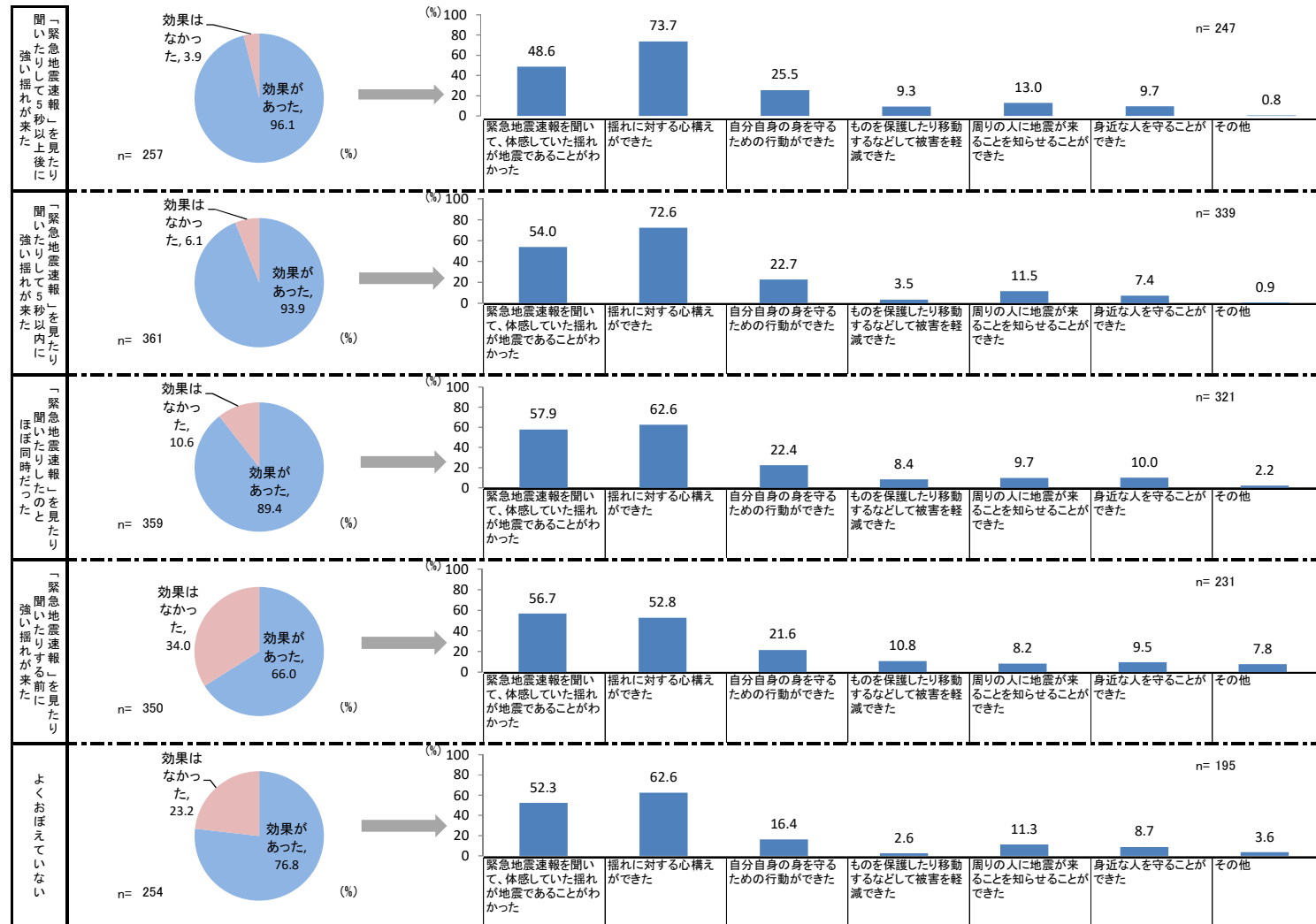
ベース: 効果の内容に関しては「効果はなかった」という回答は除外して集計している。

【速報結果分析】

〔5. 熊本地震本震時における猶予時間別効果有無と効果の内容〕

- 本震時の猶予時間別にみても、前震時の猶予時間別結果(前ページ)と同様の傾向にある。

【Q26】熊本地震のときに、緊急地震速報の効果はありましたか。＜本震時猶予時間別クロス集計＞】



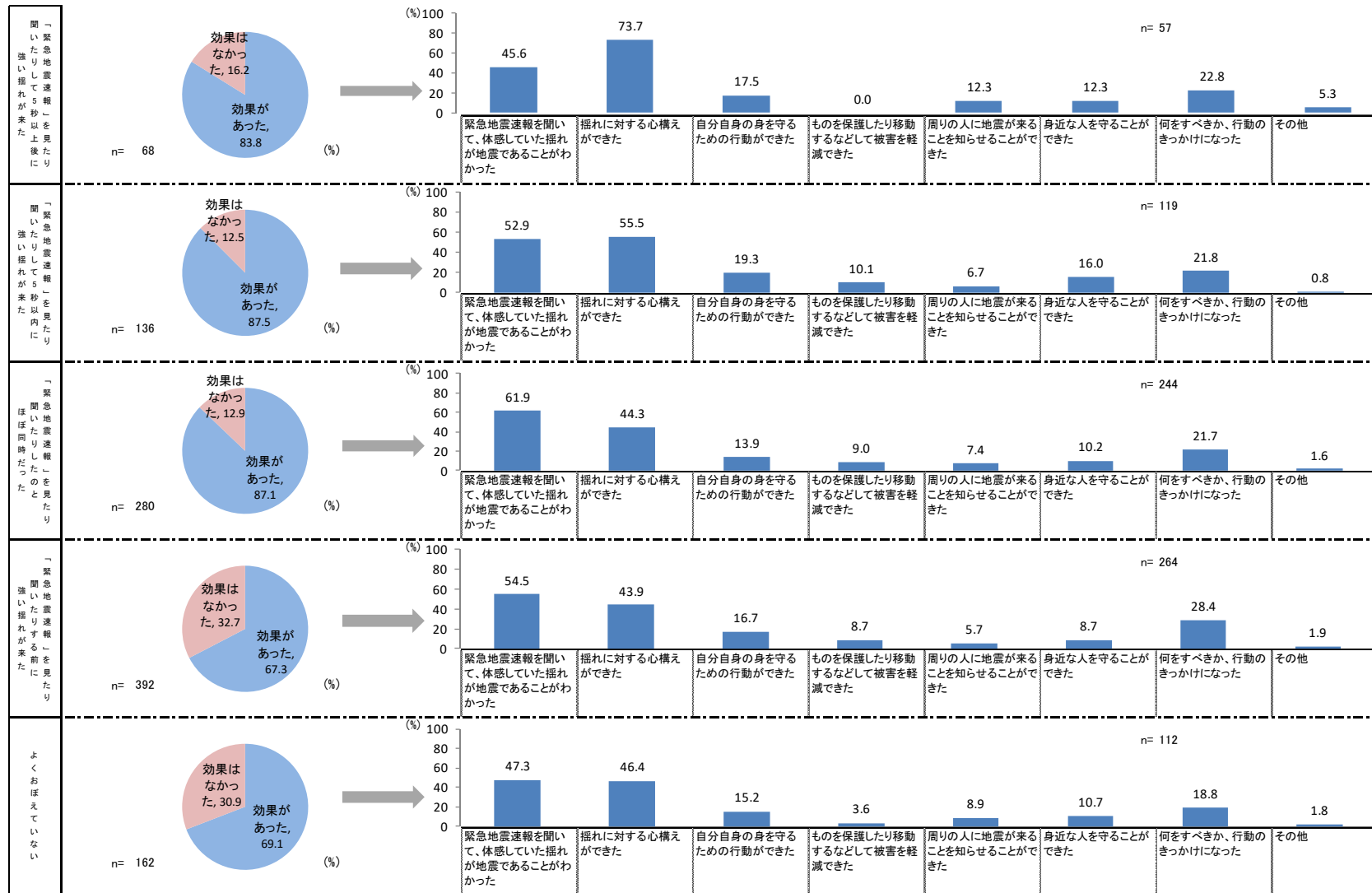
ベース: 効果の内容に関しては「効果はなかった」という回答は除外して集計している。

【速報結果分析】

〔5. 北海道地震時、猶予時間効果有無と効果の内容〕

- ・ 猶予時間がほぼ同時、5秒以内、5秒以上で「効果があった」とする人が多く、8割以上。

【Q14】北海道胆振東部地震のときに、緊急地震速報の効果はありましたか。＜猶予時間別クロス集計＞



ベース: 効果の内容に関しては「効果はなかった」という回答は除外して集計。※「何をすべきか、行動のきっかけになった」は、北海道地震時の独自選択肢。

〔個別設問結果編〕

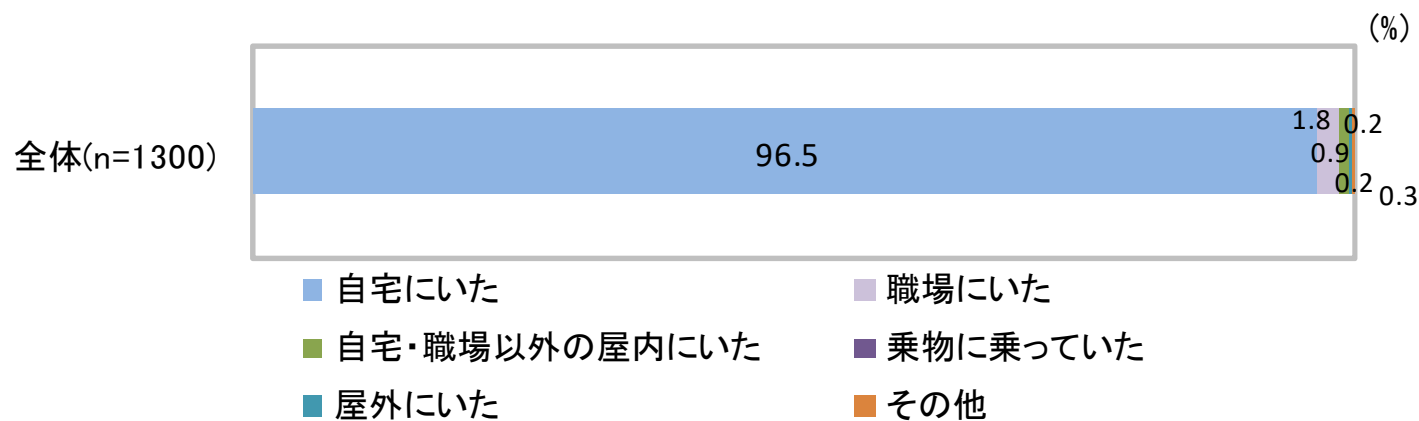
【地震発生時について】

〔地震発生時にいた場所〕

- 地震発生時にいた場所について、「自宅にいた」は9割台半ば(96.5%)となっている。

【Q1】9月6日午前3時頃の地震発生時、あなたはどちらにいましたか。(ひとつだけ)

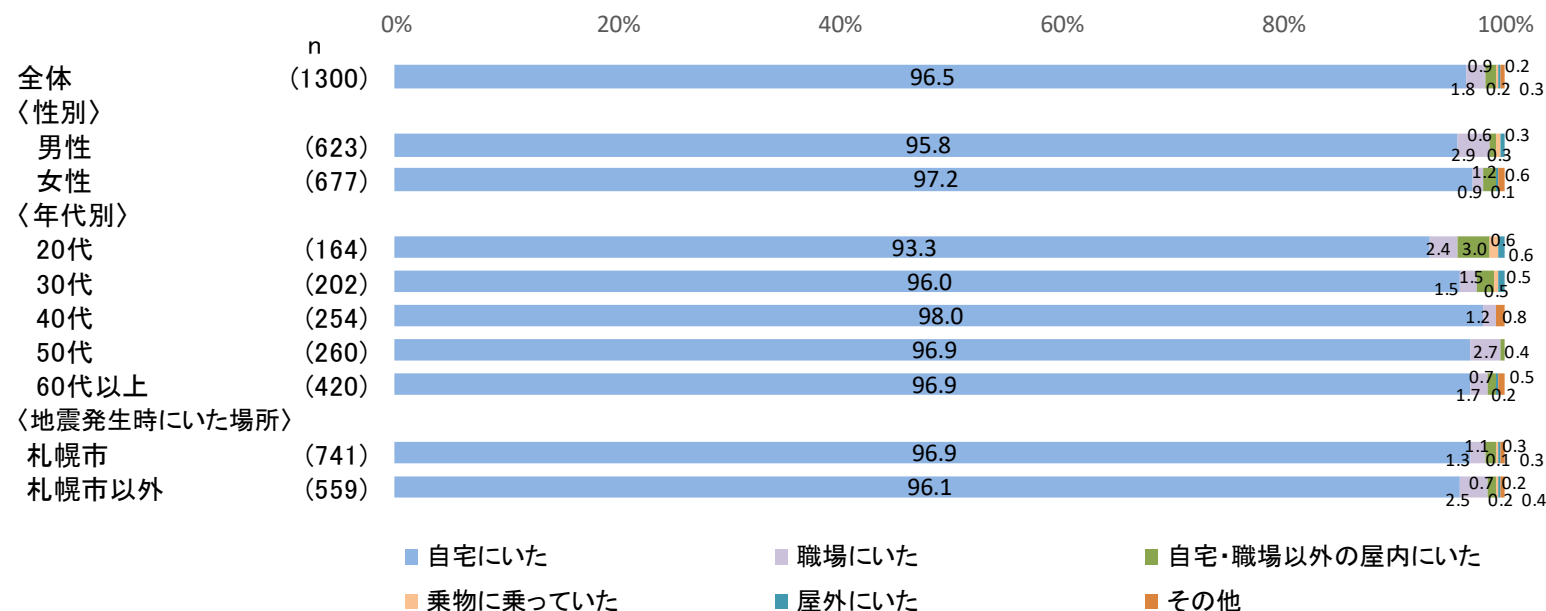
n=1300



【地震発生時について】

〔地震発生時にいた場所〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別、年代別、地域別にみても、全体と傾向は変わらない。



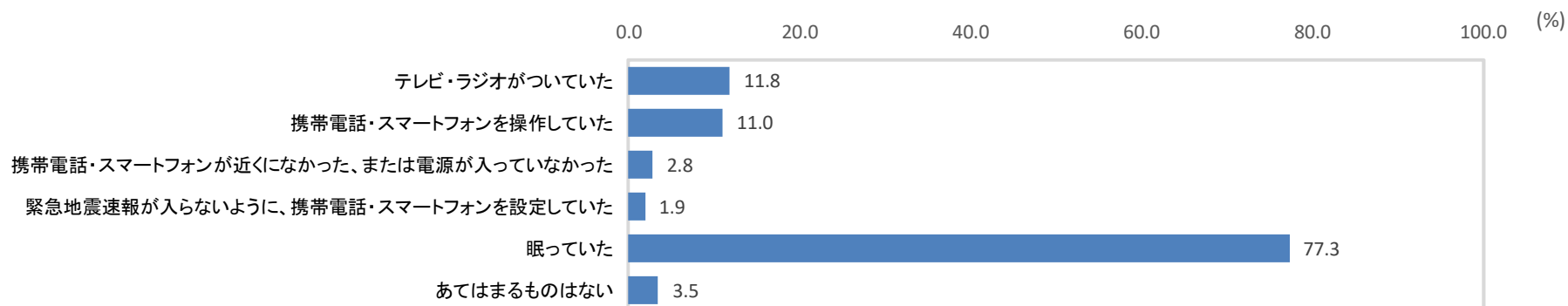
【地震発生時について】

〔地震発生時の状況〕

- 地震発生時の状況について、8割弱(77.3%)の方が「眠っていた」と回答している。

【Q2】9月6日午前3時頃の地震発生時について、あてはまるものがあれば教えてください。(いくつでも)

n=1300



【地震発生時について】

〔地震発生時にいた場所〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、若年層ほど「携帯電話・スマートフォンを操作していた」が高くなっている。一方、「テレビ・ラジオがついていた」は50代で最も高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

			テレビ・ラジオがついていた	携帯電話・スマートフォンを操作していた	携帯電話・スマートフォンは電源が近かった	緊急地震速報が入らないよう設定していた	眠っていた	あてはまるものはない
全体		1300	11.8	11.0	2.8	1.9	77.3	3.5
性別	男性	623	12.4	10.3	2.7	2.2	77.4	4.2
	女性	677	11.4	11.7	3.0	1.6	77.3	3.0
年代別	20代	164	9.1	15.2	0.6	0.6	76.8	4.9
	30代	202	7.9	14.9	0.5	3.5	75.7	4.5
	40代	254	12.6	13.0	2.8	2.0	77.6	3.1
	50代	260	14.6	8.5	5.0	2.3	76.2	3.5
	60代以上	420	12.6	7.9	3.6	1.4	78.8	2.9
地震発生時にいた場所	札幌市	741	12.4	12.1	2.6	2.3	76.2	3.4
	札幌市以外	559	11.1	9.5	3.2	1.4	78.7	3.8

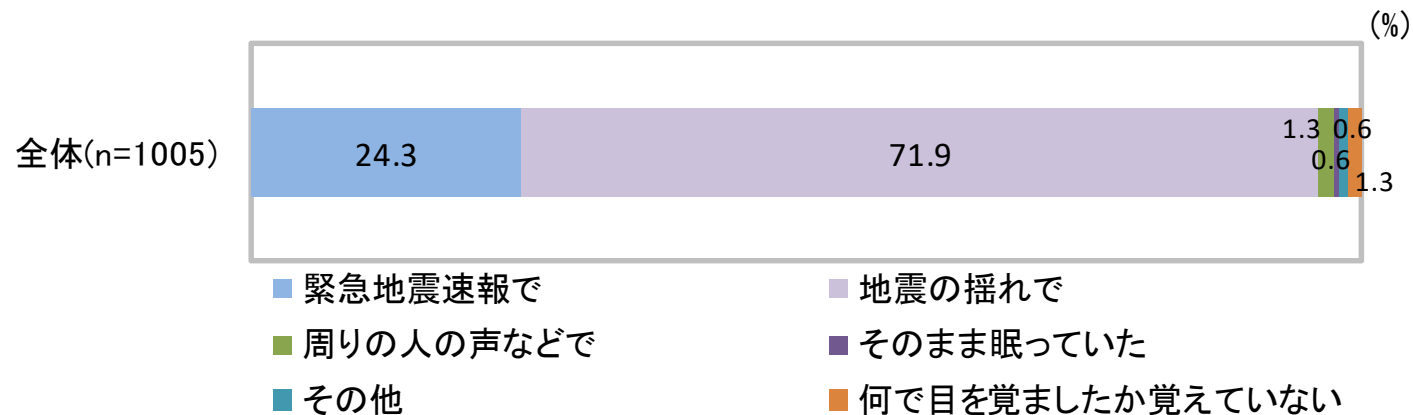
【地震発生時について】

〔目が覚めたきっかけ〕

- 目が覚めたきっかけについて、「地震の揺れで」は7割強(71.9%)、「緊急地震速報で」は2割台半ば(24.3%)となっている。

【Q3】地震のときに「眠っていた」方は、何をきっかけに目を覚ましましたか。(ひとつだけ)

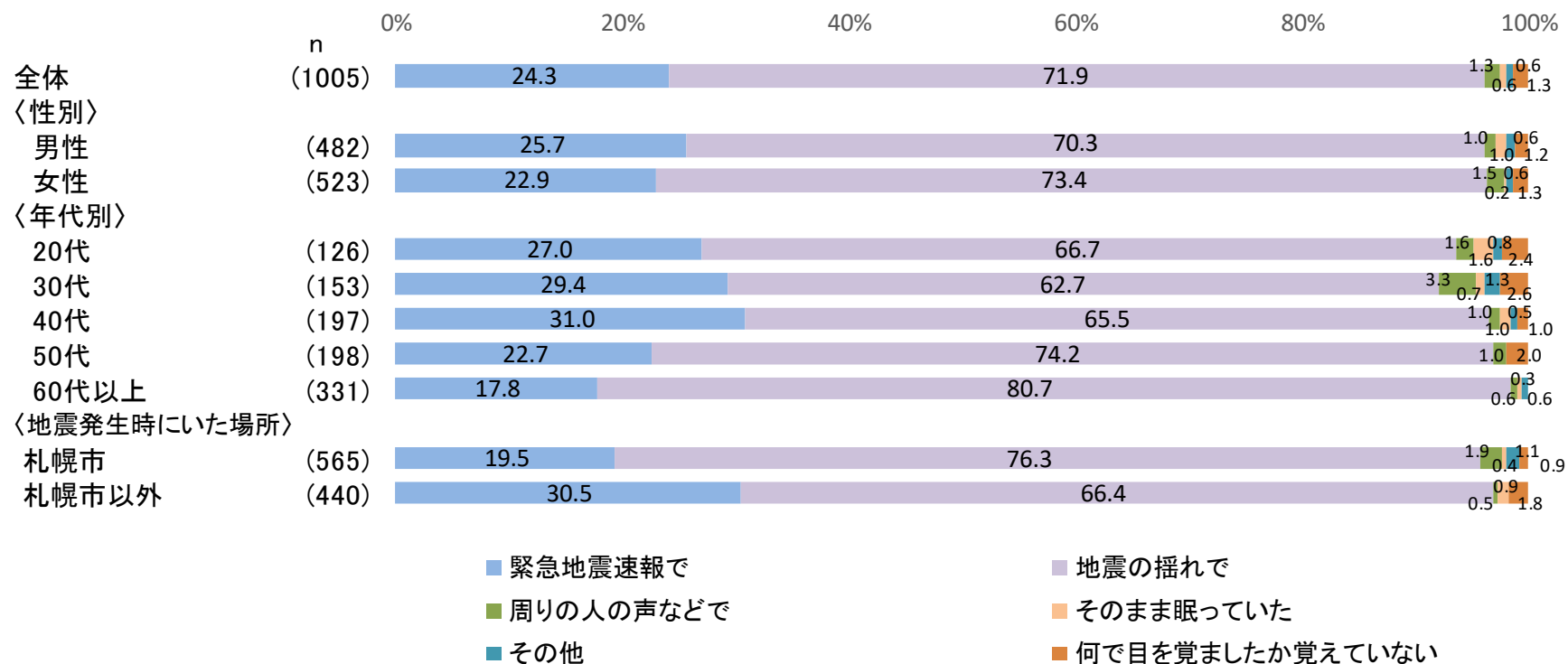
n=1005 ベース:9月6日の午前3時頃の地震発生時に、「眠っていた」と回答した人



【地震発生時について】

〔目が覚めたきっかけ〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、30～40代では「緊急地震速報で」が3割前後と他年代に比べ高くなっている。60代以上では「地震の揺れで」が約8割(80.7%)と、他年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市以外では「緊急地震速報で」が約3割(30.5%)と、札幌市と比べ11.0ポイント高くなっている。



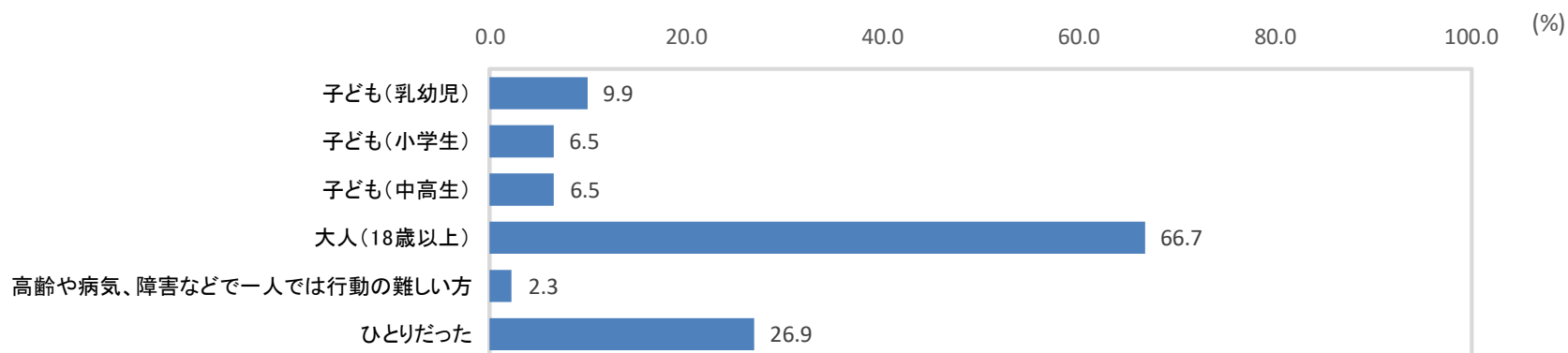
【地震発生時について】

〔地震発生時に一緒にいた方〕

- 地震発生時に一緒にいた方について、「ひとりだった」は2割台半ば(26.9%)となっている。

【Q4】9月6日午前3時頃の地震発生時、誰と一緒にいましたか。(いくつでも)

n=1300



【地震発生時について】

〔地震発生時に一緒にいた方〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、30～40代では、中高生以下の子どもと一緒にいた人が、他年代に比べ高くなっている。また、20代では「ひとりだった」が3割台半ば(35.4%)と、他年代に比べ高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

			子ども (乳幼児)	子ども (小学生)	子ども (中高生)	大人 (18歳以上)	高齢や病 気、障 害など で一人 で行動 の難し い方	ひとり だった
全体		1300	9.9	6.5	6.5	66.7	2.3	26.9
性別	男性	623	9.0	6.3	6.9	67.4	2.6	27.6
	女性	677	10.8	6.6	6.2	66.0	2.1	26.3
年代別	20代	164	13.4	1.8	0.0	61.6	0.6	35.4
	30代	202	35.6	14.4	3.0	64.9	1.0	21.3
	40代	254	11.8	15.7	19.3	57.9	1.6	31.5
	50代	260	0.8	2.7	10.4	70.0	3.5	24.6
	60代以上	420	0.7	1.2	0.7	72.9	3.3	25.0
地震発生時にいた 場所	札幌市	741	9.7	6.9	5.5	66.7	1.9	28.5
	札幌市以外	559	10.2	5.9	7.9	66.7	2.9	24.9

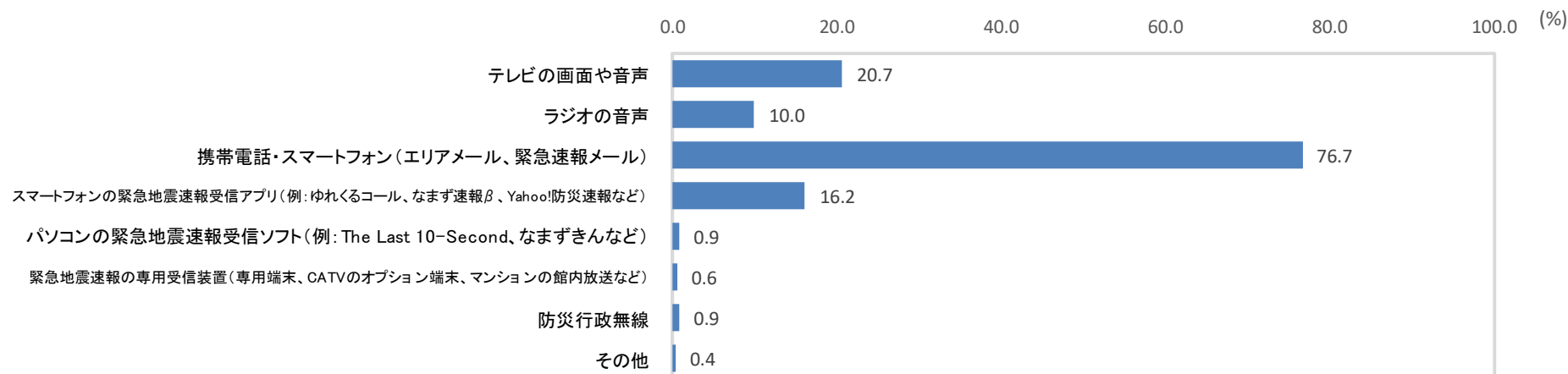
【地震発生時について】

〔緊急地震速報を入手した手段〕

- 緊急地震速報を入手した手段について、「携帯電話・スマートフォン(エリアメール、緊急地震速報メール)」は7割台半ば(76.7%)で最も高く、次いで「テレビの画面や音声」が約2割(20.7%)、「スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ」が1割台半ば(16.2%)となっている。

【Q5】9月6日午前3時頃の地震発生時、あなたは、緊急地震速報を何で入手しましたか。(いくつでも)

n=1038 ベース:緊急地震速報を「9月6日の午前3時頃の地震発生時に見聞きした」と回答した人(※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く)



【地震発生時について】

〔緊急地震速報を入手した手段〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、若年層ほど「携帯電話・スマートフォン(エリアメール、緊急地震速報メール)」が高くなっている。また、60代以上では、「テレビの画面や音声」が3割弱と、他年代に比べ高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 (%)

		n	テレビの画面や音声	ラジオの音声	携帯電話・スマートフォン(エリアメール、緊急速報メール)	スマートフォン(例:Yahoo!防災速報など)	スマートフォン(例:LINE、SMS)	パソコンの緊急地震速報受信ソフト	放送局の緊急地震速報受信機	専用端末、MACTVの受信装置	防災行政無線	その他
全体		1038	20.7	10.0	76.7	16.2	0.9	0.6	0.9	0.4		
性別	男性	492	19.9	10.4	76.6	18.3	1.2	0.8	0.8	0.4		
	女性	546	21.4	9.7	76.7	14.3	0.5	0.4	0.9	0.4		
年代別	20代	140	16.4	9.3	84.3	14.3	0.0	0.7	1.4	0.0		
	30代	173	17.3	6.4	81.5	11.0	0.6	0.6	1.2	0.6		
	40代	217	18.4	7.8	79.7	22.1	1.4	0.0	0.5	0.0		
	50代	190	18.4	8.9	72.6	17.9	2.1	1.1	0.5	1.1		
	60代以上	318	27.4	14.5	71.1	14.8	0.3	0.6	0.9	0.3		
地震発生時にいた場所	札幌市	582	18.7	10.5	77.5	16.0	0.9	0.3	0.3	0.5		
	札幌市以外	456	23.2	9.4	75.7	16.4	0.9	0.9	1.5	0.2		

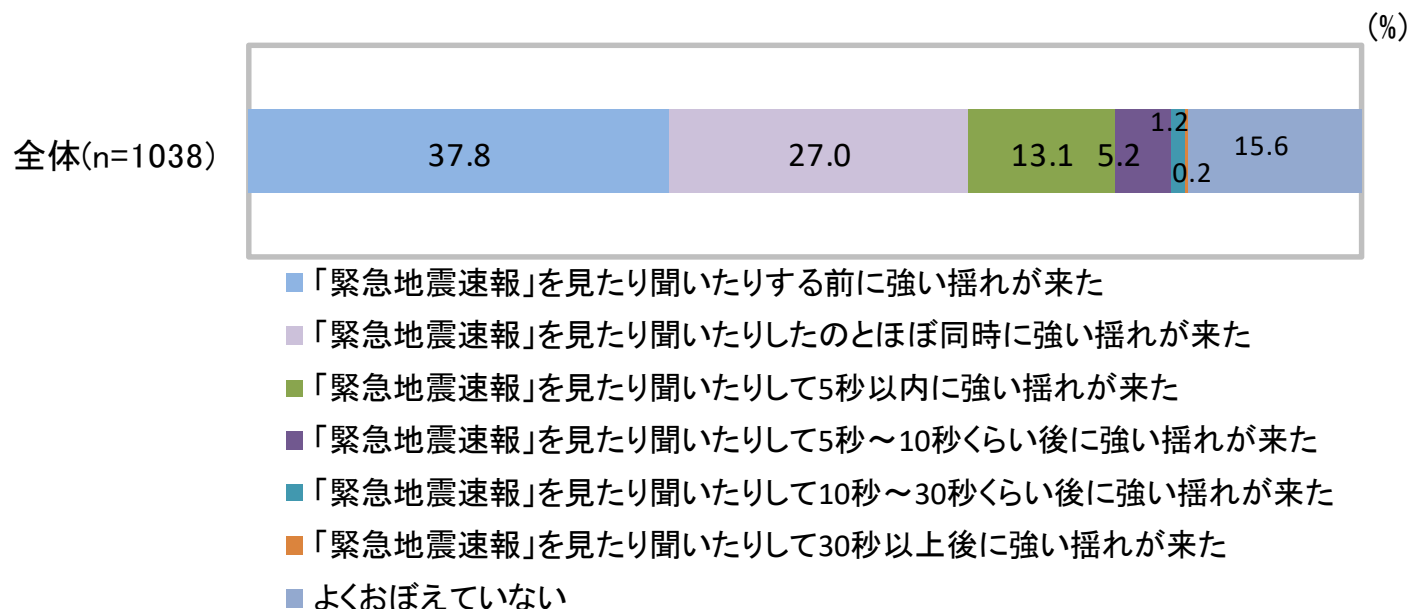
【地震発生時について】

〔緊急地震速報入手後の揺れを感じるまでの時間〕

- 緊急地震速報入手後の揺れを感じるまでの時間について、「『緊急地震速報』を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た」は4割弱(37.8%)となっている。一方、「『緊急地震速報』を見たり聞いたりして5秒以内に強い揺れが来た」が1割台半ば(13.1%)となっており、強い揺れを感じる前に緊急地震速報を入手したと回答した人は、2割弱となっている。

【Q6】9月6日午前3時頃の地震発生時、緊急地震速報を見たり聞いたりしてから強い地震の揺れを感じるまで、だいたいどのくらいの時間がありましたか。(ひとつだけ)

n=1038 ベース: 緊急地震速報を「9月6日の午前3時頃の地震発生時に見聞きした」と回答した人(※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く)

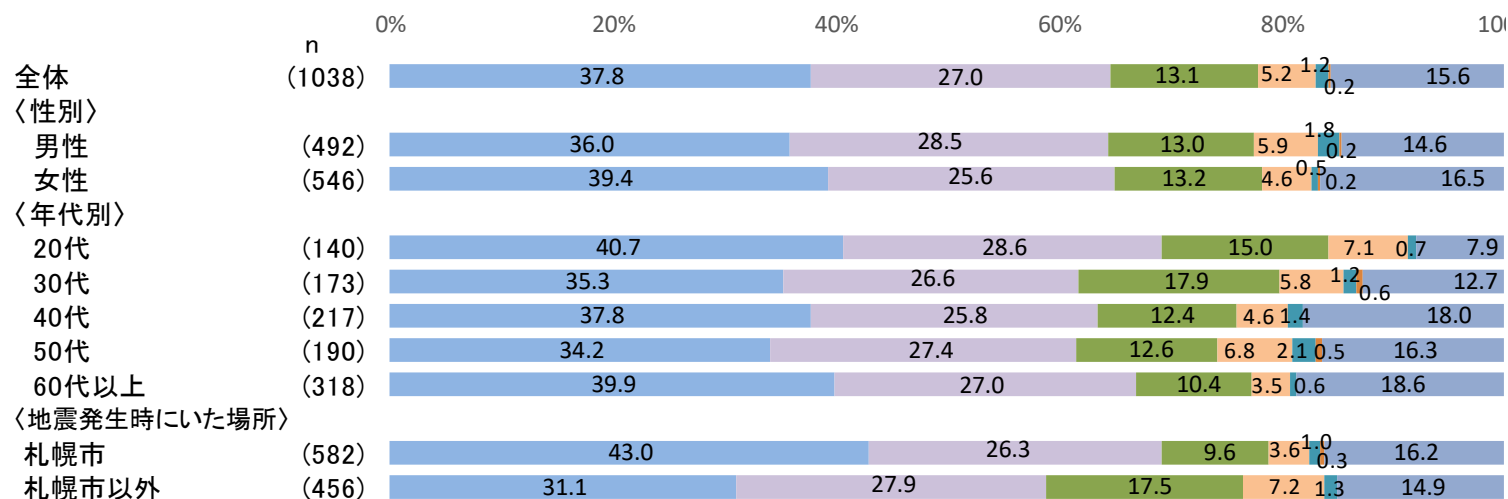


【地震発生時について】

〔緊急地震速報入手後の揺れを感じるまでの時間〕

(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、30代では「『緊急地震速報』を見たり聞いたりして5秒以内に強い揺れが来た」と回答した人が2割弱(17.9%)と、他の年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市以外では「『緊急地震速報』を見たり聞いたりして5秒以内に強い揺れが来た」と回答した人が2割弱(17.5%)と、札幌市に比べ7.9ポイント高くなっている。



- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりする前に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたのとほぼ同時に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして5秒以内に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして5秒～10秒くらい後に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして10秒～30秒くらい後に強い揺れが来た
- 「緊急地震速報」を見たり聞いたりして30秒以上後に強い揺れが来た
- よくおぼえていない

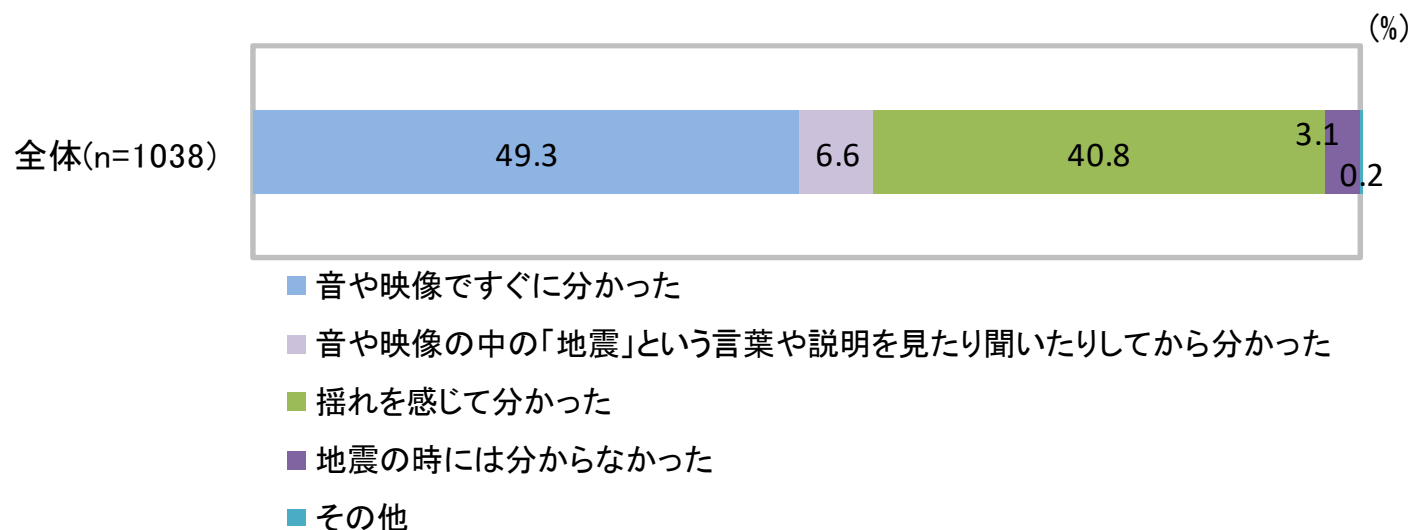
【地震発生時について】

〔緊急地震速報入手時における緊急地震速報に対する理解〕

- 緊急地震速報入手時における緊急地震速報に対する理解について、「音や映像ですぐに分かった」は5割弱(49.3%)、「揺れを感じて分かった」は約4割(40.8%)となっている。

【Q7】9月6日午前3時頃の地震発生時、あなたは緊急地震速報を入手して、緊急地震速報であることがすぐにわかりましたか。(ひとつだけ)

n=1038 ベース:緊急地震速報を「9月6日の午前3時頃の地震発生時に見聞きした」と回答した人(※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く)

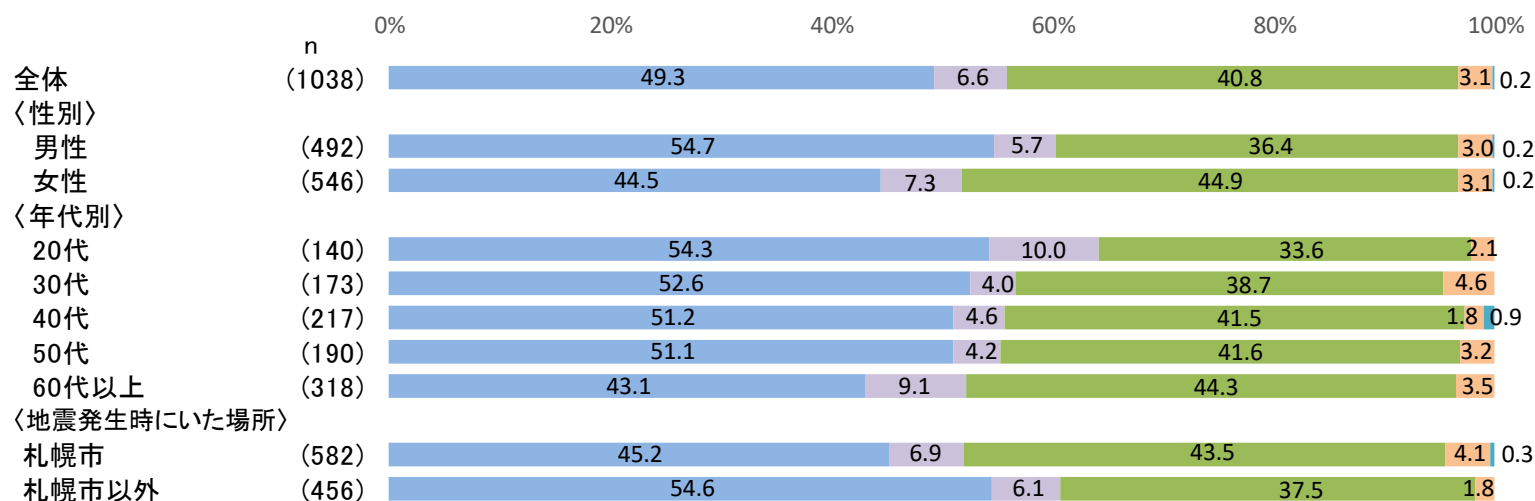


【地震発生時について】

〔緊急地震速報入手時における緊急地震速報に対する理解〕

(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別にみると、男性では「音や映像ですぐに分かった」が5割台半ば(54.7%)と、女性に比べ10.2ポイント高くなっている。一方、女性では「揺れを感じて分かった」が4割台半ば(44.9%)と、男性に比べ、8.5ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、若年層ほど「音や映像ですぐに分かった」が高くなっており、高齢層ほど「揺れを感じて分かった」が高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市以外では「音や映像ですぐに分かった」が5割台半ば(54.6%)と、札幌市に比べ9.4ポイント高くなっている。一方、札幌市では「揺れを感じて分かった」が4割台半ば(43.5%)と、札幌市以外に比べ6.0ポイント高くなっている。



- 音や映像ですぐに分かった
- 音や映像の中の「地震」という言葉や説明を見たり聞いたりしてから分かった
- 揺れを感じて分かった
- 地震の時には分からなかった
- その他

【地震発生時について】

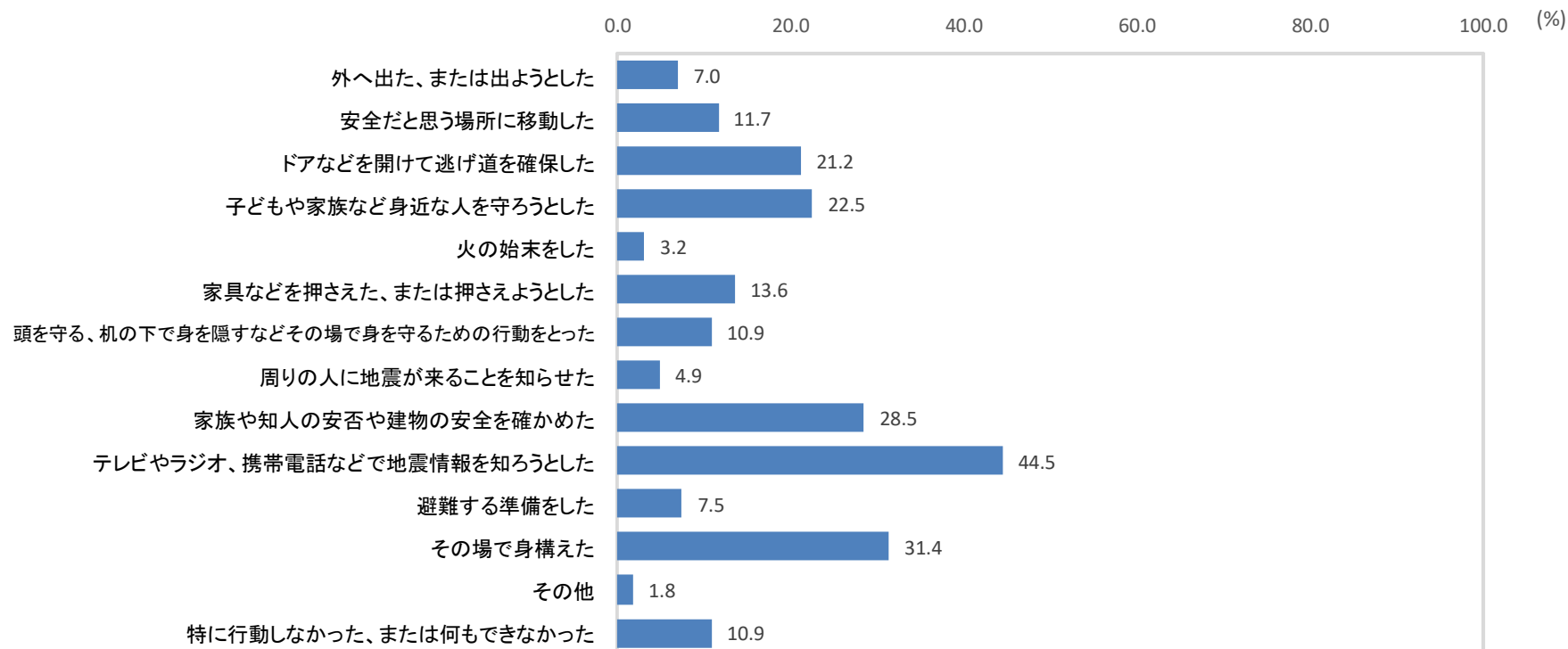
〔地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけにとった行動〕

●緊急地震速報を入手した時

緊急地震速報入手した時の行動について、「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」が4割台半ば(44.5%)と最も高く、次いで「その場で身構えた」が3割強(31.4%)、「家族や知人の安否や建物の安全を確かめた」が3割弱(28.5%)となっている。

【Q8-1】9月6日午前3時頃の地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。(いくつでも)【緊急地震速報を入手したとき】

n=1038 ベース:緊急地震速報を「9月6日の午前3時頃の地震発生時に見聞きした」と回答した人(※「そのまま眠っていた」と回答した人は除く)



【地震発生時について】

〔地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけにとった行動〕

●緊急地震速報を入手した時（性別／年代別／地域別※災害時にいた場所）

- 男女別にみると、男性では「家具などを押さえた、または押さえようとした」が1割台半ば(16.7%)と、女性に比べ5.9ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、30～40代では「子供や家族など身近な人を守ろうとした」は3割以上となっており、他の年代に比べ高くなっている。また、高齢層ほど「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」が高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市以外では「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」が5割弱(47.4%)と、札幌市に比べ5.1ポイント高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

		n	外へ出た、または出ようとした	安全だと思ふ場所に移動した	ドアなどを開けて逃げ道を確認した	子どもや家族など身近な人を守ろうとした	火の始末をした	家具などを押さえた、または押さえようとした	頭を守る、机の下で身を隠すなどその場で身を守るための行動をとった	周りの人に地震が来ることを知らせた	家族や知人の安否や建物の安全を確かめた	テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした	避難する準備をした	その場で身構えた	その他	特に行動しなかった、または何もできなかった
全体		1038	7.0	11.7	21.2	22.5	3.2	13.6	10.9	4.9	28.5	44.5	7.5	31.4	1.8	10.9
性別	男性	492	7.1	11.8	19.5	21.7	3.3	16.7	9.3	5.7	25.8	43.7	6.7	29.1	2.4	11.6
	女性	546	7.0	11.5	22.7	23.3	3.1	10.8	12.3	4.2	31.0	45.2	8.2	33.5	1.3	10.3
年代別	20代	140	10.7	15.7	20.7	25.0	5.7	13.6	23.6	9.3	35.7	37.1	11.4	35.0	1.4	8.6
	30代	173	5.2	16.8	20.8	38.7	2.9	12.1	15.6	5.2	23.1	38.7	12.7	30.6	2.9	10.4
	40代	217	7.8	10.1	18.4	32.3	4.1	10.6	8.8	4.6	29.5	41.5	6.5	30.0	3.2	12.9
	50代	190	5.3	7.9	22.1	16.3	2.6	14.2	7.4	5.3	24.2	45.3	4.7	33.7	0.5	13.2
	60代以上	318	6.9	10.4	23.0	9.7	1.9	16.0	6.3	2.8	30.2	52.5	5.3	29.9	1.3	9.4
地震発生時にいた場所	札幌市	582	7.7	12.4	21.1	22.3	4.0	15.3	12.9	5.2	30.2	42.3	7.4	30.6	1.2	11.9
	札幌市以外	456	6.1	10.7	21.3	22.8	2.2	11.4	8.3	4.6	26.3	47.4	7.7	32.5	2.6	9.6

【地震発生時について】

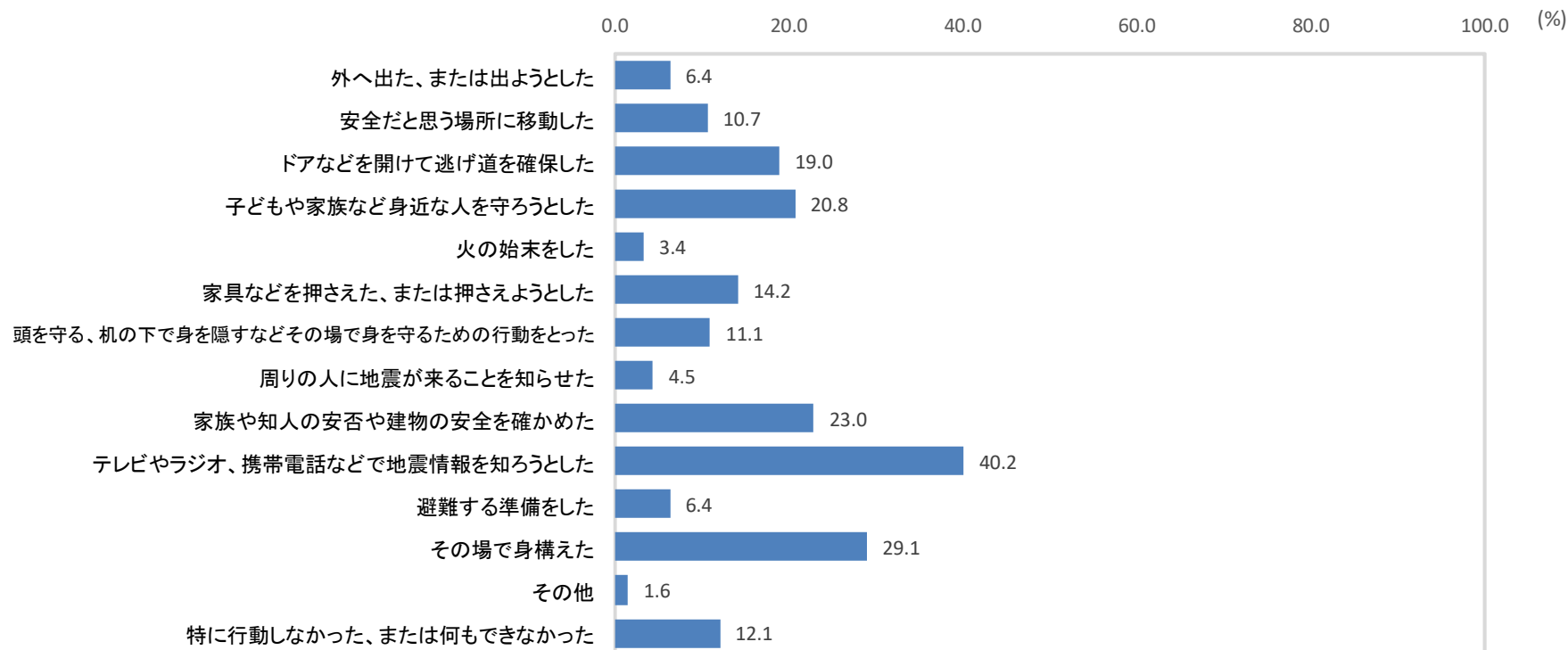
〔地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけにとった行動〕

●揺れを感じたとき

- 揺れを感じた時にとった行動について、「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」が約4割(40.2%)と最も高く、次いで「その場で身構えた」が3割弱(29.1%)となっている。

【Q8-2】9月6日午前3時頃の地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。(いくつでも)【揺れを感じたとき】

n=1294 ベース:9月6日の午前3時頃の地震発生時に「そのまま眠っていた」と回答した以外の人



【地震発生時について】

〔地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけにとった行動〕

●揺れを感じたとき（性別／年代別／地域別※災害時にいた場所）

- 男女別にみると、男性で「家具などを押えた、または押えようとした」が2割弱（19.4%）と、女性と比べて9.9ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、若年層ほど「頭を守る、机の下で身を隠すなどその場で身を守るための行動をとった」が高くなっている。一方、高齢層ほど「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」が高くなっている。30～40代では、「子どもや家族など身近な人を守ろうとした」が3割以上と、他の年代に比べ高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

		n	外へ出た、または出ようとした	安全だと思ふ場所に移動した	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	子どもや家族など身近な人を守ろうとした	火の始末をした	家具などを押えた、または押えようとした	頭を守る、机の下で身を隠すなどの場で身を守るための行動をとった	周りの人に地震が来ることを知らせた	家族や知人の安否や建物の安全を確かめた	テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした	避難する準備をした	その場で身構えた	その他	特に行動しなかった、または何もできなかった
全体		1294	6.4	10.7	19.0	20.8	3.4	14.2	11.1	4.5	23.0	40.2	6.4	29.1	1.6	12.1
性別	男性	618	8.3	10.0	17.6	19.3	3.2	19.4	8.9	5.5	22.0	40.5	6.0	24.6	2.3	13.9
	女性	676	4.7	11.4	20.3	22.2	3.6	9.5	13.0	3.6	23.8	39.9	6.8	33.1	1.0	10.5
年代別	20代	162	11.7	13.6	17.3	22.2	5.6	14.2	20.4	7.4	25.3	32.1	11.7	27.8	2.5	13.0
	30代	201	6.5	16.4	17.4	36.8	4.5	11.4	15.9	6.0	20.4	30.8	7.5	27.4	1.0	9.5
	40代	252	6.3	9.1	15.5	32.1	4.4	12.7	11.5	3.2	25.8	35.3	4.8	24.6	2.4	14.3
	50代	260	5.0	7.3	18.8	16.2	3.1	15.0	7.7	3.5	24.2	42.7	6.9	30.0	1.2	15.8
	60代以上	419	5.3	10.0	22.7	8.6	1.7	16.0	6.9	4.1	20.8	49.2	4.5	32.5	1.4	9.5
地震発生時にいた場所	札幌市	739	6.1	10.8	18.9	20.3	4.2	16.0	11.6	4.9	23.4	39.4	5.7	29.5	1.4	12.3
	札幌市以外	555	6.8	10.6	19.1	21.4	2.3	11.9	10.3	4.0	22.3	41.3	7.4	28.5	2.0	11.9

【地震発生時について】

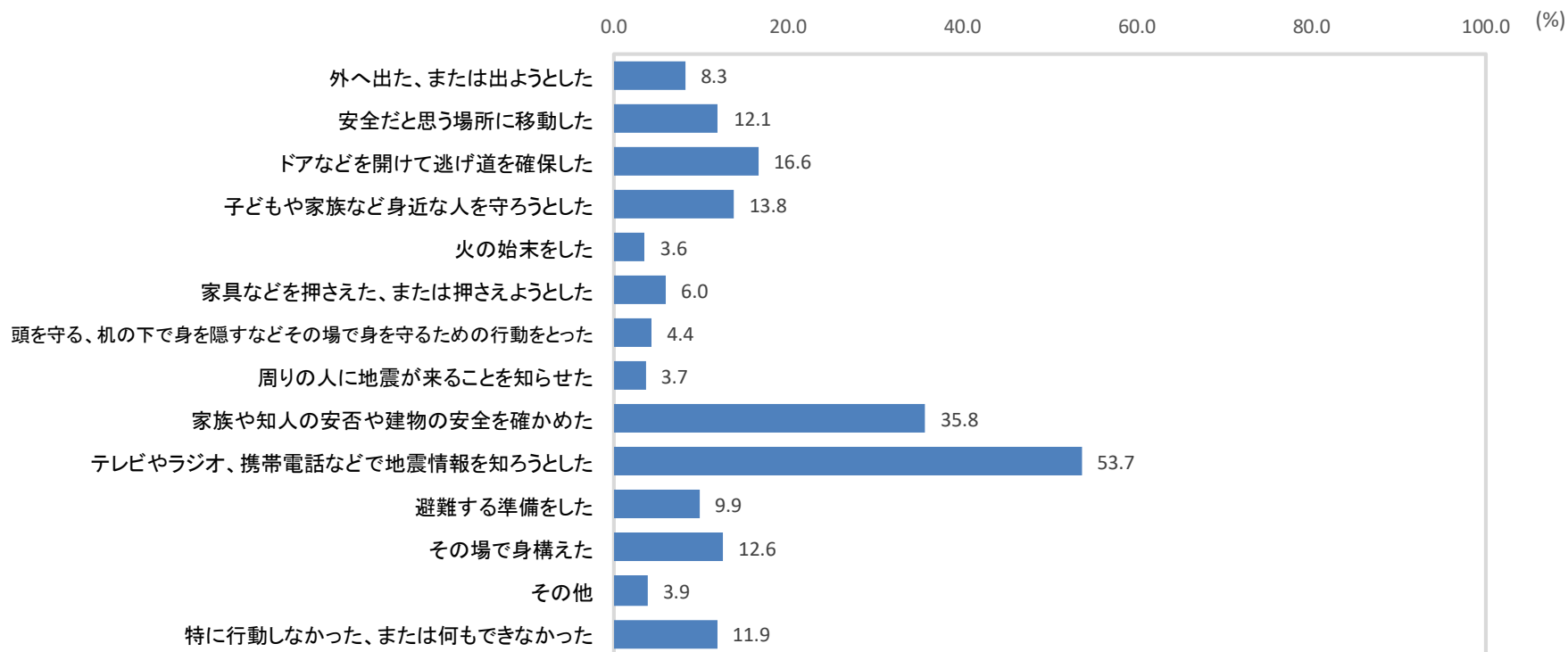
〔地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけにとった行動〕

●揺れが収まってきたとき

- 揺れが収まってきたときの行動について、「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」は5割台半ば(53.7%)と最も高くなっており、次いで「家族や知人の安否や建物の安全を確かめた」が3割台半ば(35.8%)となっている。

【Q8-3】9月6日午前3時頃の地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけに、あなたはどのような行動を取りましたか。(いくつでも)【揺れが収まってきたとき】

n=1294 ベース:9月6日の午前3時頃の地震発生時に「そのまま眠っていた」と回答した以外の人



【地震発生時について】

〔地震発生時、緊急地震速報や揺れをきっかけにとった行動〕

●揺れが収まってきたとき(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別にみると、女性では「家族や知人の安否や建物の安全を確かめた」が4割強(41.1%)、「ドアなどを開けて逃げ道を確認した」が約2割(20.4%)と、男性に比べ5ポイント以上高くなっている。
- 年代別にみると、若年層ほど「安全だと思ふ場所に移動した」が高くなっており、高齢層ほど「テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」が高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

		n	外へ出た、または出ようとした	安全だと思ふ場所に移動した	ドアなどを開けて逃げ道を確認した	子どもや家族など身近な人を守ろうとした	火の始末をした	家具などを押さえた、または押さえようとした	頭を守る、机の下で身を隠すなどその場で身を守るため	周りの人に地震が来ることを知らせた	家族や知人の安否や建物の安全を確かめた	テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした	避難する準備をした	その場で身構えた	その他	特に行動しなかった、または何もできなかった
全体		1294	8.3	12.1	16.6	13.8	3.6	6.0	4.4	3.7	35.8	53.7	9.9	12.6	3.9	11.9
性別	男性	618	10.8	12.0	12.5	13.8	3.1	8.3	3.9	2.9	29.9	51.6	8.3	12.1	4.4	12.8
	女性	676	5.9	12.1	20.4	13.9	4.1	4.0	4.9	4.4	41.1	55.6	11.4	13.0	3.6	11.1
年代別	20代	162	11.7	19.1	21.6	13.6	4.3	4.9	9.3	6.2	36.4	43.2	14.2	13.6	6.2	13.0
	30代	201	6.5	12.4	20.9	22.9	7.0	5.5	8.0	4.5	36.3	47.8	13.9	11.9	3.5	11.4
	40代	252	11.5	10.7	14.3	20.2	4.0	5.2	3.2	3.6	38.9	56.7	11.9	11.1	3.6	13.9
	50代	260	5.4	10.8	15.8	9.6	2.7	7.3	3.1	3.1	31.2	56.2	7.3	11.2	3.8	12.7
	60代以上	419	7.6	10.7	14.6	8.4	2.1	6.4	2.4	2.9	36.3	57.3	6.7	14.3	3.6	10.0
地震発生時にいた場所	札幌市	739	8.3	12.0	17.3	12.9	4.5	6.1	5.5	4.6	37.9	52.2	9.7	13.5	3.4	11.8
	札幌市以外	555	8.3	12.1	15.7	15.1	2.5	5.9	2.9	2.5	33.0	55.7	10.1	11.4	4.7	12.1

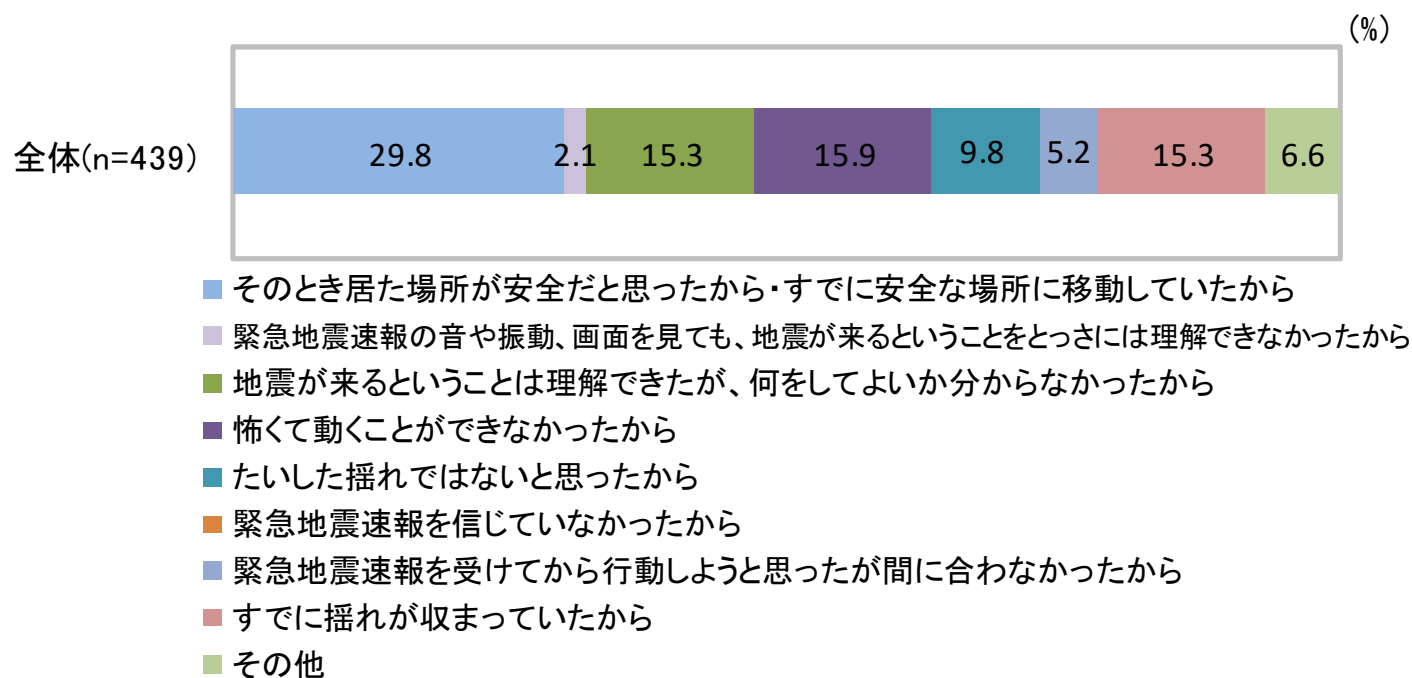
【地震発生時について】

〔地震発生時、緊急地震速報を入手しても行動を起こさなかった理由〕

- 地震発生時、緊急地震速報を入手しても行動を起こさなかった理由について、「そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから」が3割弱(29.8%)、「怖くて動くことができなかったから」(15.9%)、「地震が来るということは理解できたが、何をしてもよいか分からなかったから」(15.3%)、「すでに揺れが収まっていたから」(15.3%)がいずれも1割台半ばとなっている。

【Q9】9月6日午前3時頃の地震発生時、緊急地震速報を入手しても「その場で身構えた」、あるいは「特に行動しなかった、または何もできなかった」主な理由をお答えください。(ひとつだけ)

n=439 ベース:緊急地震速報を入手した際、「その場で身構えた」、「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

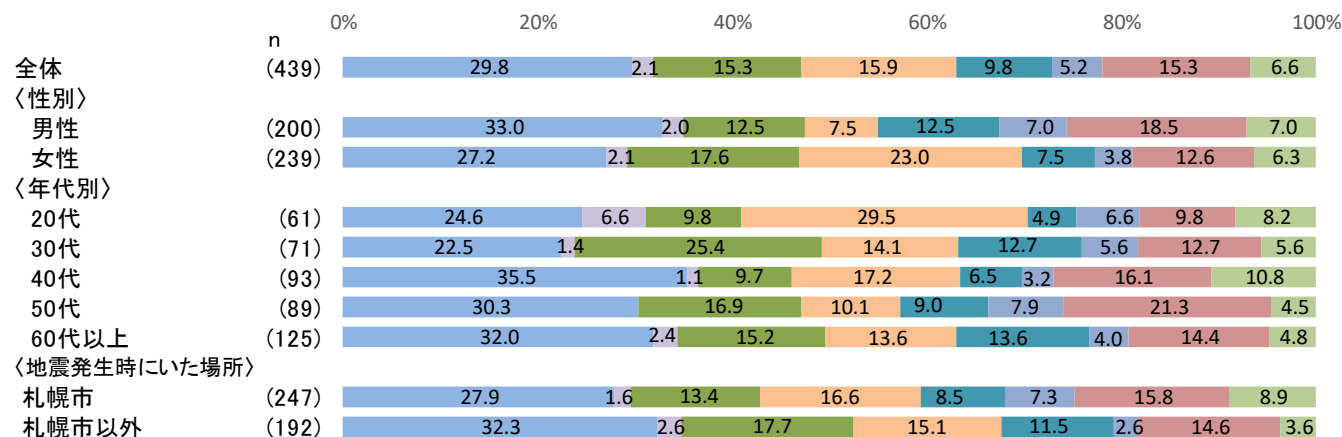


【地震発生時について】

〔地震発生時、緊急地震速報を入手しても行動を起こさなかった理由〕

(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別にみると、女性では「怖くて動くことができなかったから」が2割台半ば(23.0%)と男性に比べて15.5ポイント高くなっている。一方、男性では「そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから」が3割台半ば(33.0%)、「すでに揺れが収まっていたから」が2割弱(18.5%)、「たいした揺れではないと思ったから」が1割強(12.5%)と、いずれも女性に比べ5ポイント以上高くなっている。
- 年代別にみると、20代では「怖くて動くことができなかったから」が3割弱(29.5%)と他の年代に比べ高くなっている。また、30代では「地震がくるということは理解できたが、何をしてもよいか分からなかったから」が2割台半ば(25.4%)と他の年代に比べ高くなっている。



- そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから
- 緊急地震速報の音や振動、画面を見ても、地震が来るということをとっさには理解できなかったから
- 地震が来るということは理解できたが、何をしてもよいか分からなかったから
- 怖くて動くことができなかったから
- たいした揺れではないと思ったから
- 緊急地震速報を信じていなかったから
- 緊急地震速報を受けてから行動しようと思ったが間に合わなかったから
- すでに揺れが収まっていたから
- その他

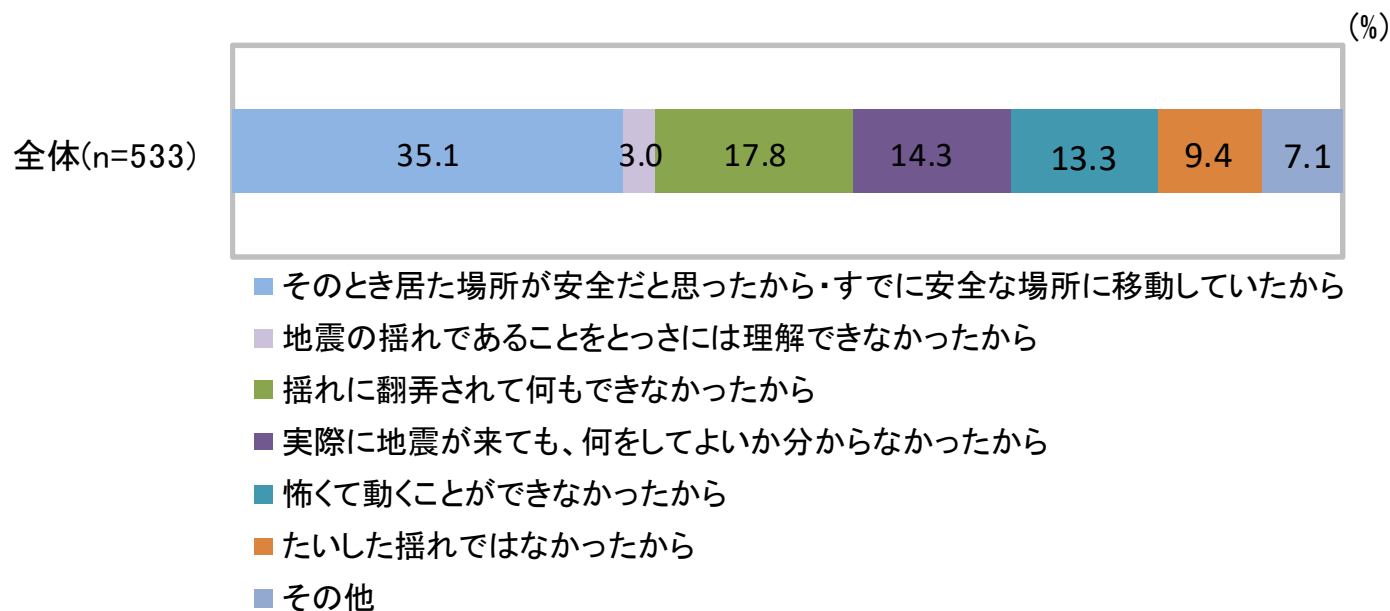
【地震発生時について】

〔地震発生時、揺れ始めても行動を起こさなかった理由〕

- 地震発生時、揺れ始めても行動を起こさなかった理由について、「そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから」が3割台半ば(35.1%)、「地震の揺れであることをとっさには理解できなかったから」が2割弱(17.8%)となっている。

【Q10】9月6日午前3時頃の地震発生時、揺れ始めても「その場で身構えた」、あるいは「特に行動しなかった、または何もできなかった」主な理由をお答えください。(ひとつだけ)

n=533 ベース:9月6日の午前3時頃の地震発生時に揺れ始めても、「その場で身構えた」、「特に行動しなかった、または何もできなかった」と回答した人

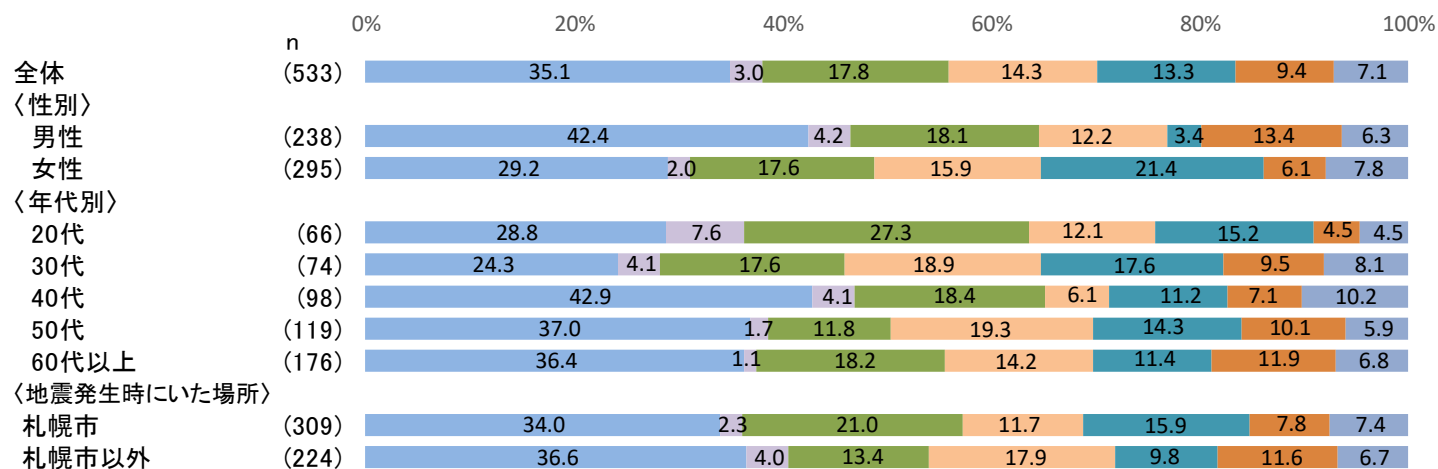


【地震発生時について】

〔地震発生時、緊急地震速報を入手しても行動を起こさなかった理由〕

(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別にみると、男性では「そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから」が4割台半ば(42.4%)、「たいした揺れではなかったから」が1割台半ば(13.4%)と、いずれも女性に比べ5ポイント以上高くなっている。一方、女性では「怖くて動くことができなかったから」が2割強(21.4%)と、男性に比べ18.0ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、20代では「揺れに翻弄されて何もできなかったから」が3割弱(27.3%)と、他の年代に比べ高くなっている。また、40代では「そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから」が4割強(42.9%)と他の年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市では「揺れに翻弄されて何もできなかったから」が2割強(21.0%)、「怖くて動くことができなかったから」が1割台半ば(15.9%)と、いずれも札幌市以外に比べ5ポイント以上高くなっている。一方、札幌市以外では「実際に地震が来ても、何をしてもよいか分からなかったから」が2割弱(17.9%)と、札幌市と比べ6.2ポイント高くなっている。



- そのとき居た場所が安全だと思ったから・すでに安全な場所に移動していたから
- 地震の揺れであることをとっさには理解できなかったから
- 揺れに翻弄されて何もできなかったから
- 実際に地震が来ても、何をしてもよいか分からなかったから
- 怖くて動くことができなかったから
- たいした揺れではなかったから
- その他

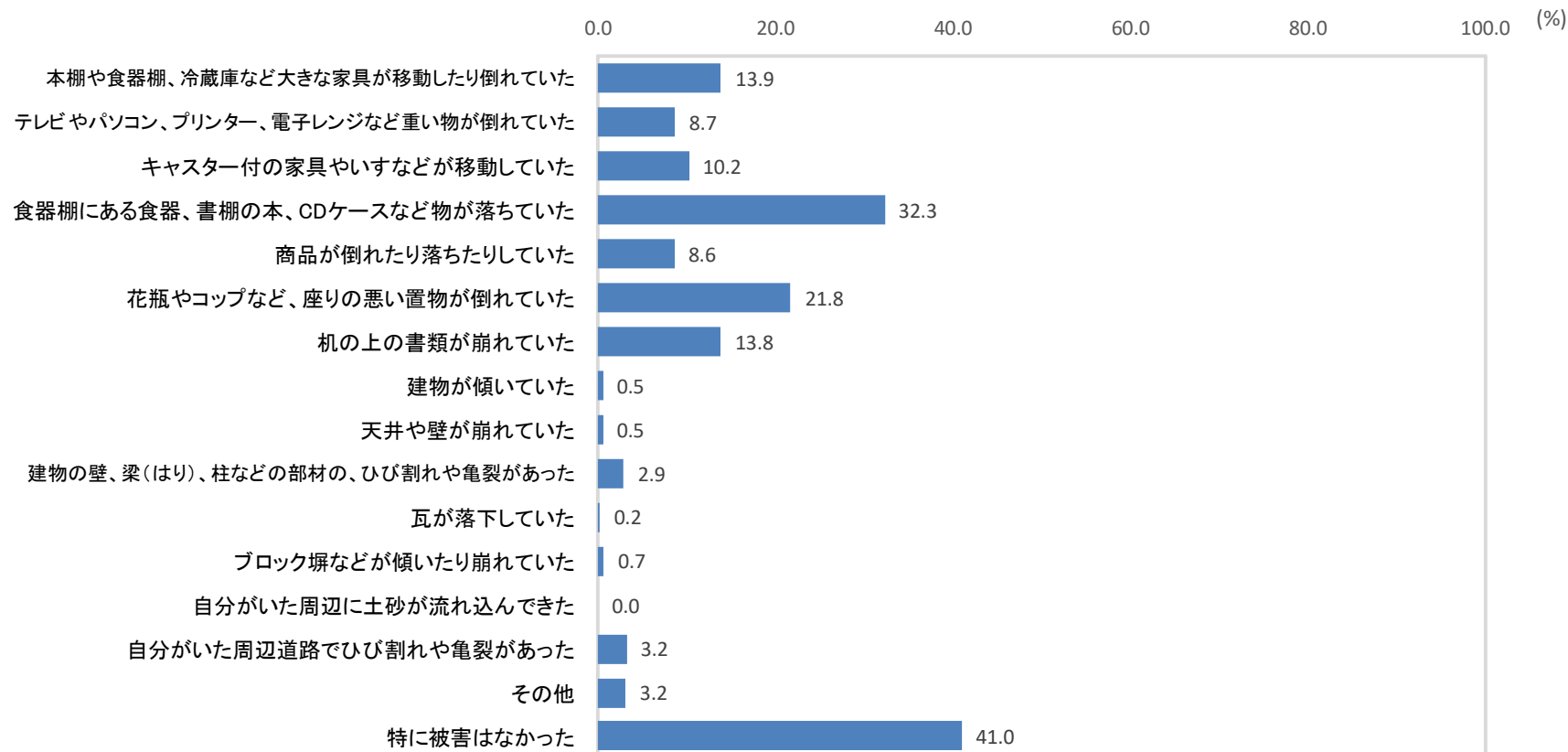
【地震発生時について】

〔9月6日午前3時頃の地震による揺れが収まった後の周囲の状況〕

- 地震による揺れが収まった後の周囲の状況について、「食器棚にある食器、書棚の本、CDケースなど物が落ちていた」が3割強(32.3%)で最も高く、次いで「花瓶、コップなど、座りの悪い置物が倒れていた」が2割強(21.8%)となっている。

【Q11】9月6日午前3時頃の地震による揺れが収まった後、周囲はどのような状況でしたか。(いくつでも)

n=1300



【地震発生時について】

〔9月6日午前3時頃の地震による揺れが収まった後の周囲の状況〕

(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別にみると、女性では「食器棚にある食器、書棚の本、CDケースなど物が落ちていた」が3割台半ば(34.7%)、「花瓶やコップなど、座りの悪い置物が倒れていた」が2割台半ば(25.1%)と、いずれも男性に比べ5ポイント以上高くなっている。
- 年代別にみると、20代では「机の上の書類が崩れていた」が2割強(22.0%)、「キャスター付の家具やいすなどが移動していた」(15.2%)・「商品が倒れたり落ちたりしていた」(14.0%)が1割台半ばと、いずれも他年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市では「食器棚にある食器、書棚の本、CDケースなど物が落ちていた」が3割台半ば(35.5%)、「机の上の書類が崩れていた」が1割台半ば(16.6%)、「テレビやパソコン、プリンター、電子レンジなど重い物が倒れていた」が1割強(11.2%)と、いずれも札幌市以外に比べ5ポイント以上高くなっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

		n	本棚や食器棚、冷蔵庫など大きな家具が移動したり倒れていた	テレビやパソコンなど重い物が倒れていた	キャスター付の家具やいすなどが移動していた	食器棚にある食器、書棚の本、CDケースなど物が落ちていた	商品が倒れたり落ちたりしていた	花瓶やコップなど、座りの悪い置物が倒れていた	机の上の書類が崩れていた	建物が傾いていた	天井や壁が崩れていた	建物の壁、梁(はり)、柱などの部材のひび割れや亀裂があった	瓦が落下していた	ブロック塀などが傾いたり崩れていた	自分がいた周辺に土砂が流れ込んだ	自分がいた周辺道路でひび割れや亀裂があった	その他	特に被害はなかった
全体		1300	13.9	8.7	10.2	32.3	8.6	21.8	13.8	0.5	0.5	2.9	0.2	0.7	0.0	3.2	3.2	41.0
性別	男性	623	13.8	9.6	9.8	29.7	7.5	18.1	16.2	0.2	0.6	3.4	0.5	0.5	0.0	3.2	3.0	41.9
	女性	677	14.0	7.8	10.6	34.7	9.6	25.1	11.7	0.9	0.4	2.5	0.0	0.9	0.0	3.2	3.2	40.2
年代別	20代	164	17.7	11.6	15.2	37.2	14.0	18.3	22.0	1.8	1.2	4.9	0.0	1.2	0.0	7.3	3.0	32.9
	30代	202	17.3	11.9	13.4	32.7	10.9	19.3	15.3	0.5	0.0	3.5	0.0	1.5	0.0	5.9	3.5	37.1
	40代	254	15.0	9.4	10.6	35.0	8.7	21.3	11.8	0.0	0.8	3.9	0.4	1.2	0.0	2.4	3.1	39.8
	50代	260	13.1	7.7	8.8	33.1	10.8	21.2	16.5	0.8	0.8	3.8	0.0	0.4	0.0	1.5	3.5	43.5
	60代以上	420	10.7	6.2	7.4	28.1	4.0	25.0	9.5	0.2	0.2	0.7	0.5	0.0	0.0	1.9	2.9	45.2
地震発生時にいた場所	札幌市	741	15.5	11.2	11.5	35.5	9.6	23.2	16.6	0.4	0.4	3.1	0.3	0.8	0.0	4.6	2.7	35.2
	札幌市以外	559	11.8	5.4	8.6	28.1	7.3	19.9	10.2	0.7	0.7	2.7	0.2	0.5	0.0	1.4	3.8	48.7

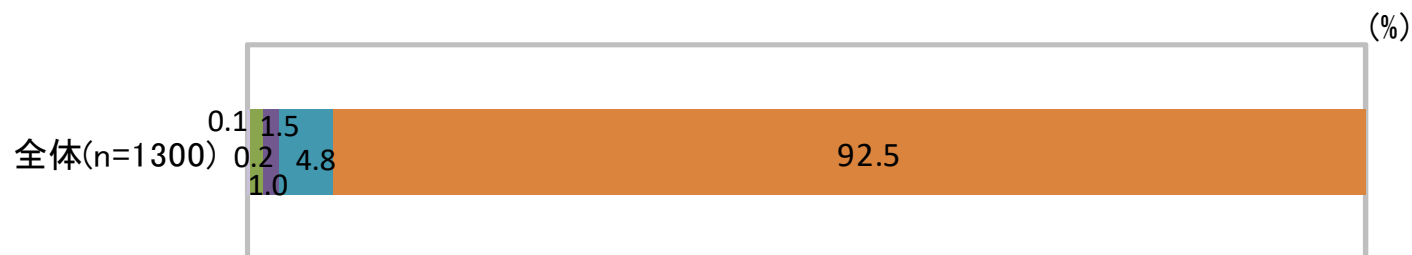
【地震発生時について】

〔地震発生時のけがの有無〕

- 地震発生時のけがの有無について、何らかのけがをした人は約3%となっている。

【Q12】9月6日午前3時頃の地震発生時、あなたはけがをしましたか。(ひとつだけ)

n=1300

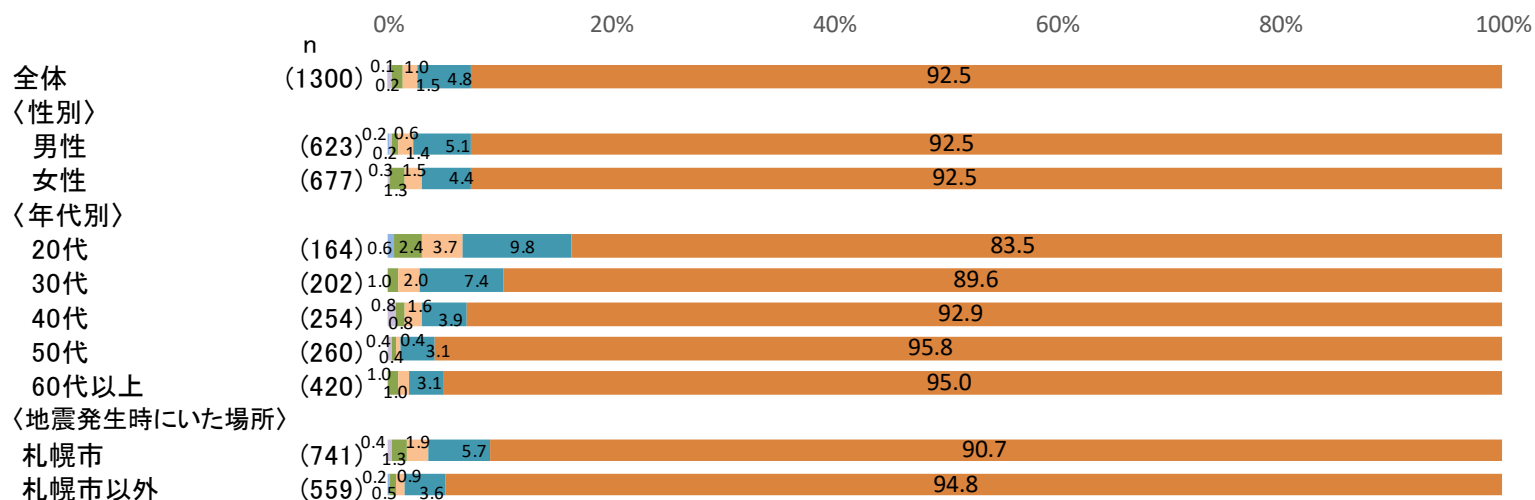


- けがをして入院した
- 骨折や出血など、病院で処置が必要なほどのけがをした
- 打撲や捻挫、切り傷などのけがをしたが、病院に行くほどのけがではなかった
- 体をぶついたりつまづいたが手当てをするほどではなかった
- けがをしそうになったが大丈夫だった
- 上記のようなことはなかった

【地震発生時について】

〔地震発生時のけがの有無〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、20代では「けがをしそうになったが大丈夫だった」が他の年代に比べ高くなっているものの、実際にけがをした人に年代別の差はみられない。



- けがをして入院した
- 骨折や出血など、病院で処置が必要なほどのけがをした
- 打撲や捻挫、切り傷などのけがをしたが、病院に行くほどのけがではなかった
- 体をぶつけたりつまづいたが手当てをするほどではなかった
- けがをしそうになったが大丈夫だった
- 上記のようなことはなかった

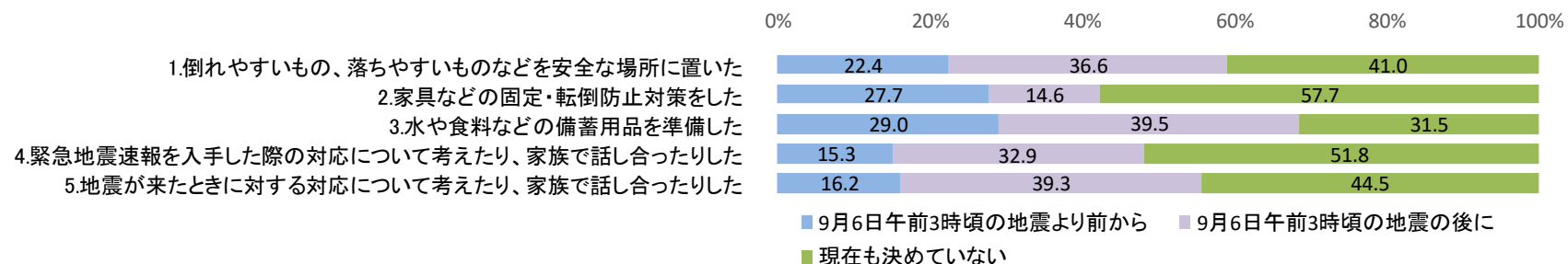
【地震に対する備え】

〔地震に対する備えの開始時期〕

地震に対する備えの開始時期について、今回の北海道胆振東部地震がきっかけとなって始めた地震の備えとして「水や食料などの備蓄用品を準備した」(39.5%)、「地震が来たときに対する対応について考えたり、家族で話し合ったりした」(39.3%)がいずれも4割弱となっている。

【Q13】あなたは地震に対する備えに関する以下の項目について、いつから行っていましたか。見直しをしたり確認をしたりした人も教えてください。(それぞれひとつだけ)

n=1300



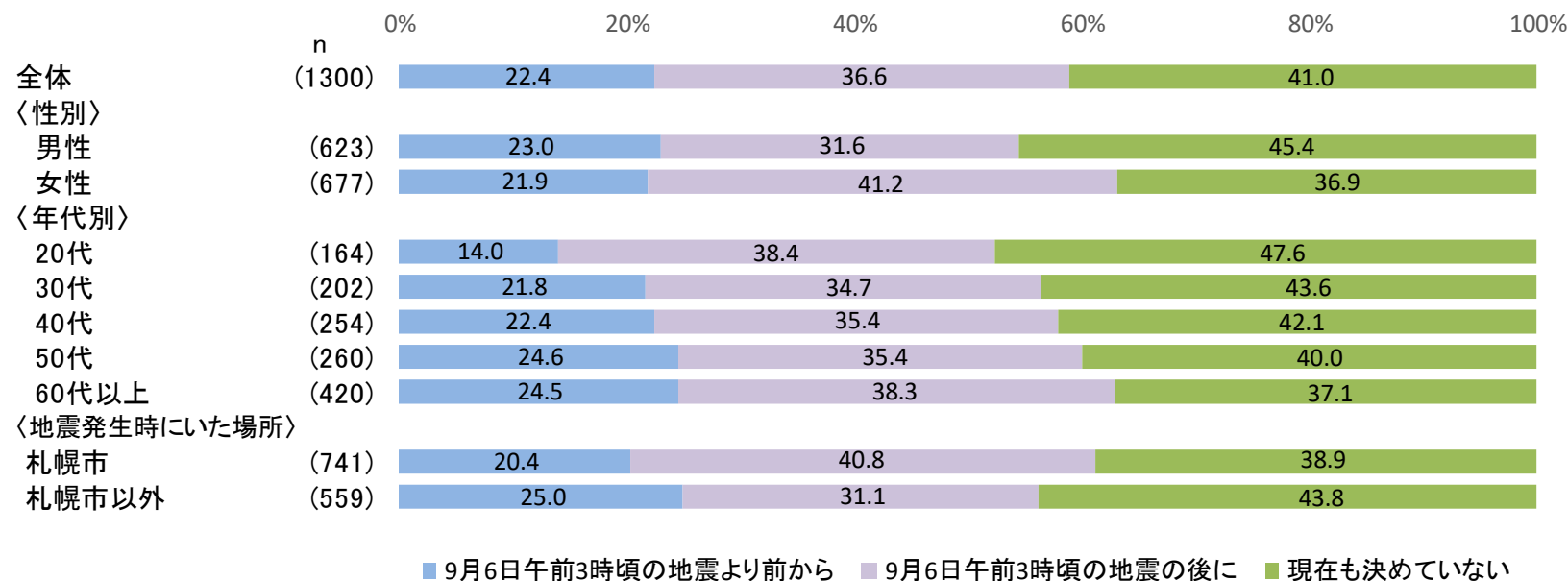
【地震に対する備え】

〔地震に対する備え〕

●倒れやすいもの、落ちやすいものなどを安全な場所に置いた

(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 男女別にみると、女性では「9月6日午前3時頃の地震の後に」が4割強(41.2%)となっており、男性に比べ9.6ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、20代では「9月6日午前3時頃の地震の前から」が1割台半ば(14.0%)となっており、他の年代に比べ低くなっている。
- 地域別にみると、札幌市では「9月6日午前3時頃の地震の後に」が約4割(40.8%)となっており、札幌市以外に比べ9.7ポイント高くなっている。

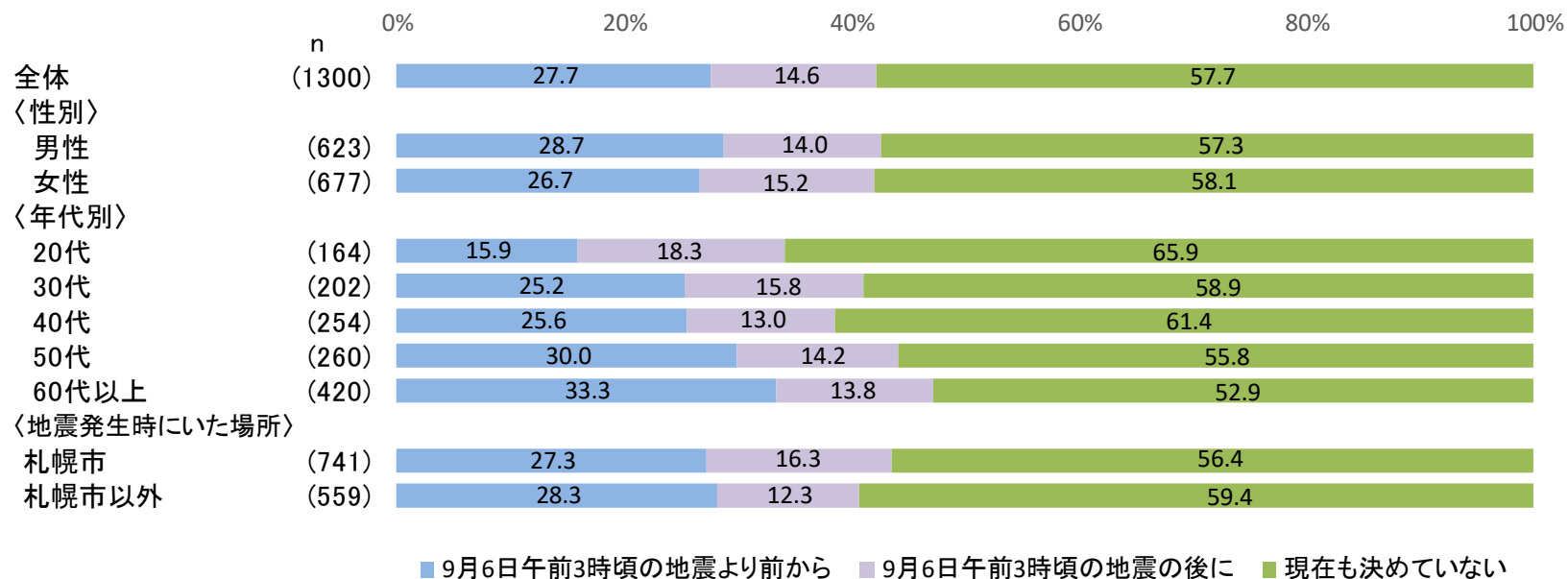


【地震に対する備え】

〔地震に対する備え〕

●家具などの固定・転倒防止対策をした（性別／年代別／地域別※災害時にいた場所）

- 年代別にみると、20代では「9月6日午前3時頃の地震の後に」が2割弱（18.3%）となっており、他の年代と比べ高くなっている。

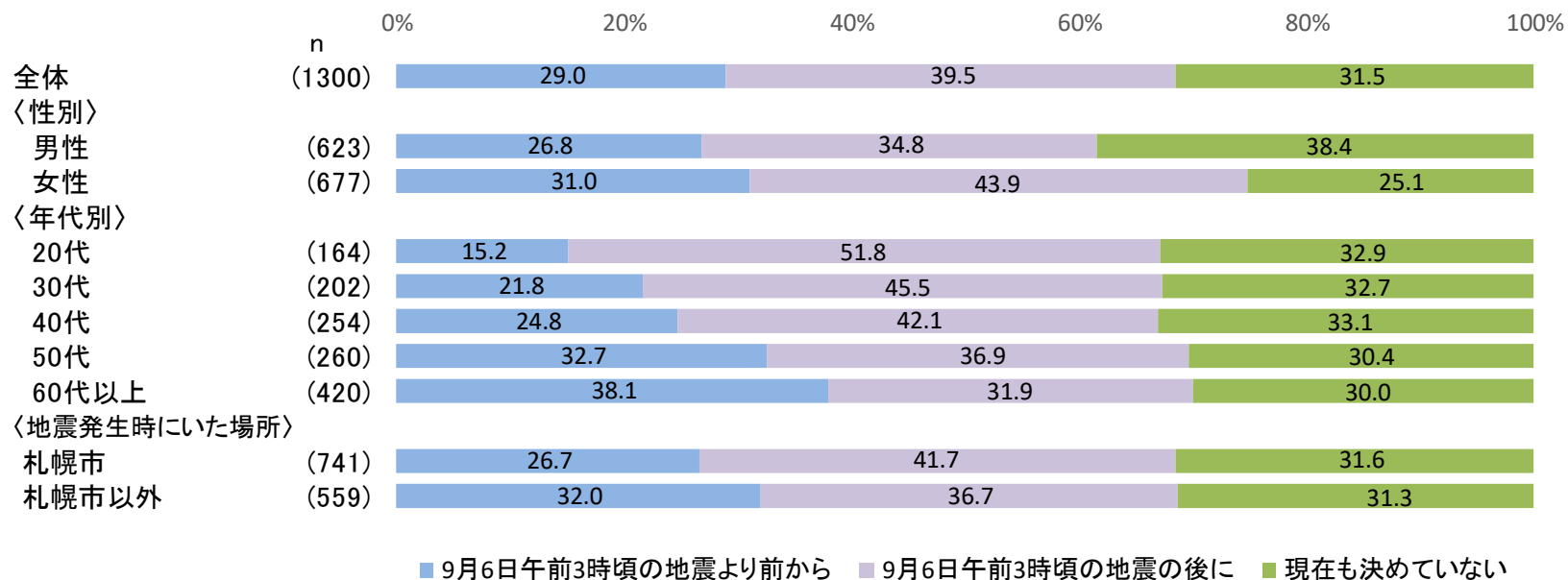


【地震に対する備え】

〔地震に対する備え〕

●水や食料などの備蓄用品を準備した（性別／年代別／地域別※災害時にいた場所）

- 男女別にみると、女性では「9月6日午前3時頃の地震の後に」が4割台半ば（43.9%）となっており、男性と比べ9.1ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、若年層ほど「9月6日午前3時頃の地震の後に」が高くなっている。

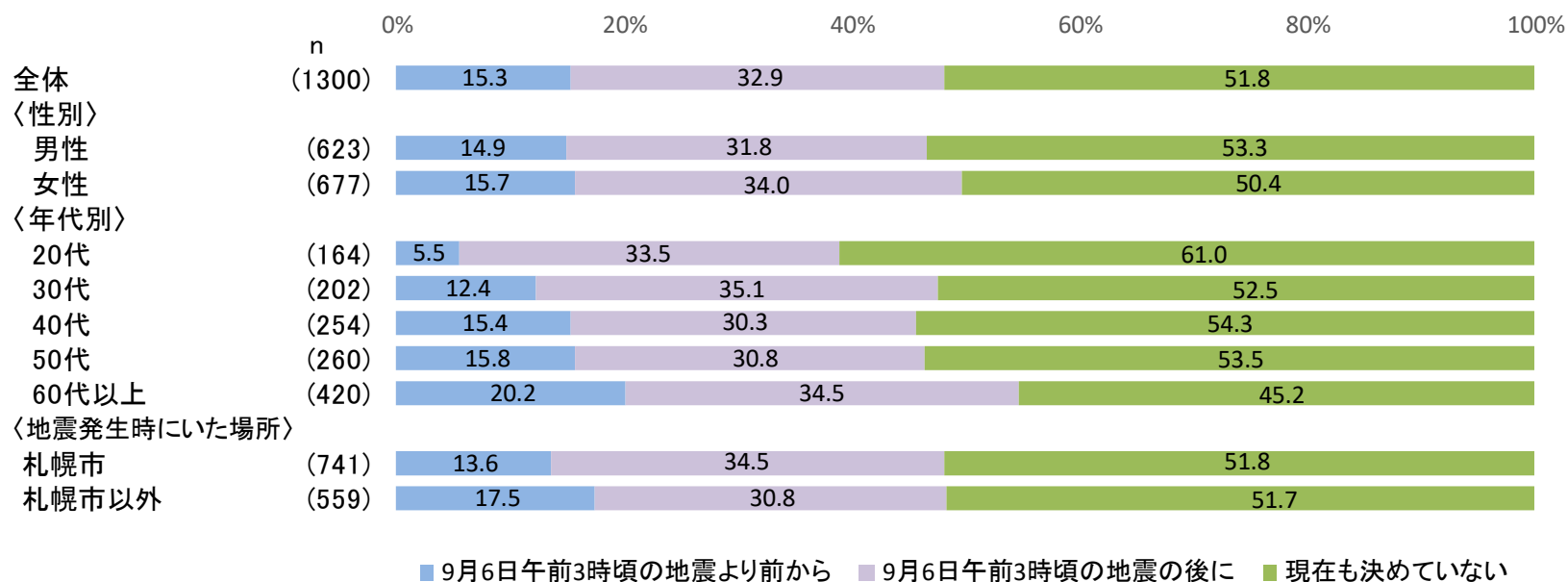


【地震に対する備え】

〔地震に対する備え〕

●緊急地震速報を入手した際の対応について考えたり、家族で話し合ったりした (性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、30代、60代以上では「9月6日午前3時頃の地震の後に」が3割台半ばとなっており、他の年代と比べ高くなっている。

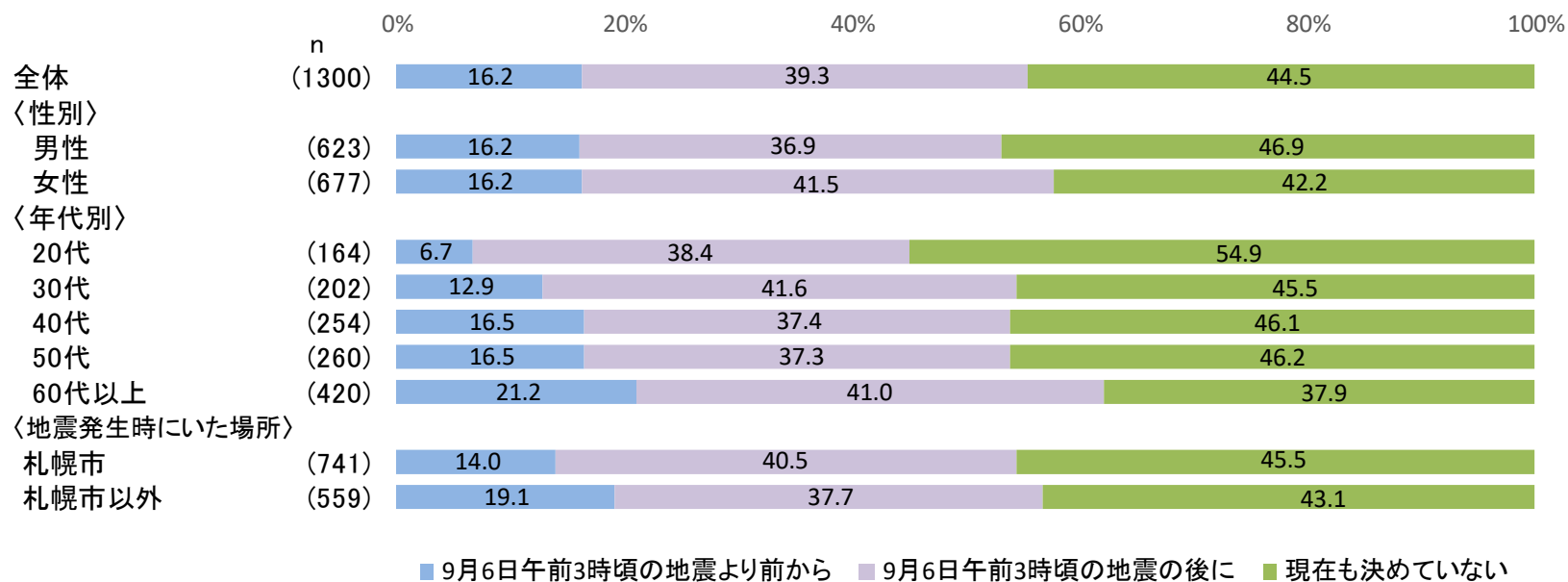


【地震に対する備え】

〔地震に対する備え〕

●地震が来たときに対する対応について考えたり、家族で話し合ったりした
(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、高齢層ほど「9月6日午前3時頃の地震の前から」が高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市以外では「9月6日午前3時頃の地震の前から」が2割弱(19.1%)となっており、札幌市に比べ5.1ポイント高くなっている。



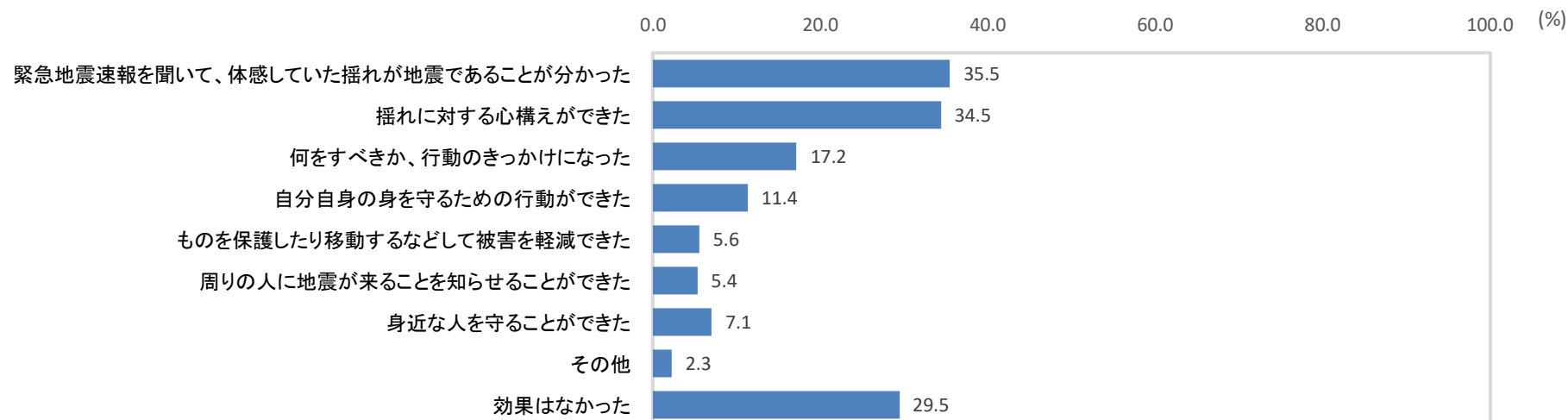
【緊急地震速報について】

〔緊急地震速報の効果〕

- 緊急地震速報の効果について、「緊急地震速報を聞いて、体感していた揺れが地震であることが分かった」(35.5%)、「揺れに対する心構えができた」(34.5%)が3割台半ばと、いずれも他の項目と比べ高くなっている。

【Q14】北海道胆振東部地震の際、余震も含め、緊急地震速報の効果はありましたか。(いくつでも)

n=1300



【緊急地震速報について】

〔緊急地震速報の効果〕(性別／年代別／地域別※災害時にいた場所)

- 年代別にみると、20代では「自分自身の身を守るための行動ができた」が2割弱(17.1%)と、他の年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、札幌市以外では「緊急地震速報を聞いて、体感していた揺れが地震であることが分かった」が4割弱(39.4%)と、札幌市と比べ6.7ポイント高くなっている。

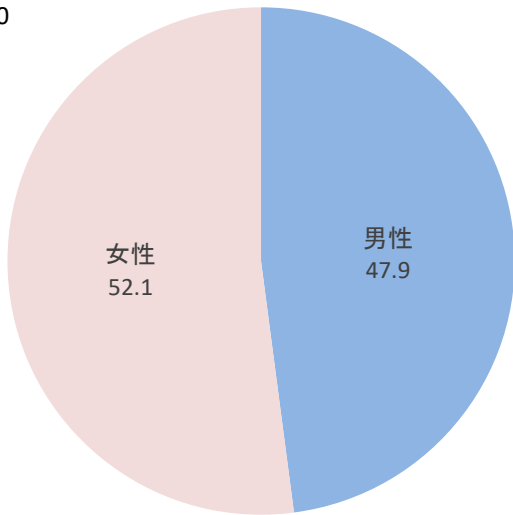
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

		n	分て緊 かいた急 った揺地震 れた速報 が地を聞 震いて、 感 がし	揺れに 対する 心構え ができた	何をす べきか、 行動の きっかけ	自分自 身の身 を守る ための 行動 ができた	ものを 保護し たり移 動する など	周りの 人に地 震が来 ることを 知	身近な 人を守 ることが できた	その他	効果は なかった
全体		1300	35.5	34.5	17.2	11.4	5.6	5.4	7.1	2.3	29.5
性別	男性	623	37.2	34.5	17.5	11.7	4.8	5.5	6.4	2.4	30.0
	女性	677	34.0	34.4	17.0	11.1	6.4	5.3	7.7	2.2	29.0
年代別	20代	164	40.2	36.6	18.9	17.1	9.1	6.1	7.3	1.2	28.7
	30代	202	33.7	34.7	15.3	8.9	4.5	6.4	10.9	1.0	31.7
	40代	254	37.0	37.4	15.4	10.6	5.5	7.1	7.1	1.6	26.0
	50代	260	32.3	31.5	16.2	11.2	4.2	4.2	4.6	2.3	35.0
	60代以上	420	35.7	33.6	19.3	11.0	5.7	4.3	6.7	3.8	27.4
地震発生時にいた場所	札幌市	741	32.7	33.6	16.2	12.6	7.0	5.3	6.3	1.9	32.7
	札幌市以外	559	39.4	35.6	18.6	9.8	3.8	5.5	8.1	2.9	25.2

【回答者属性】

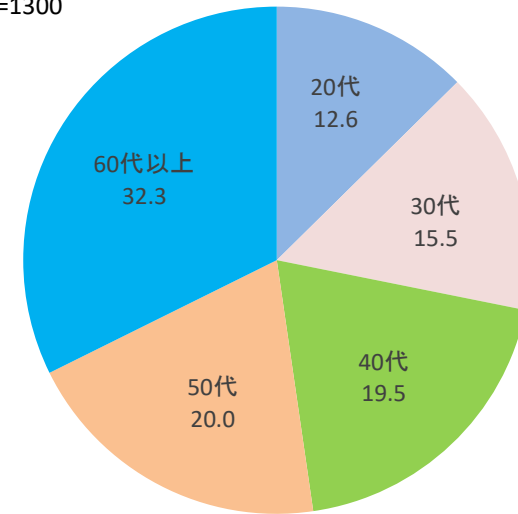
〔性別〕

n=1300



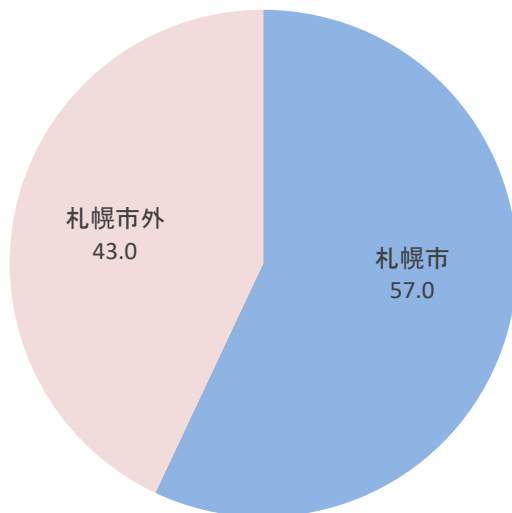
〔年代〕

n=1300



〔災害時にいた場所〕

n=1300



〔午前3時頃の地震発生時の緊急地震速報の入手状況〕

n=1300

